

中播磨（市川流域圏）
地域総合治水推進計画

（資料編・案）

見え消し版

令和 7 年 3 月

兵 庫 県

目 次

1. 計画地域の概要	1
1-1. 計画地域の概要	1
(1) 計画地域の概要	1
(2) 土地利用・地形	2
(3) 気候	9
(4) 自然環境	11
(5) 歴史・文化	13
1-2. 洪水被害の発生状況	14
1-3. 河川・下水道の整備状況と課題	29
(1) 流域の河川	29
(2) 流域の下水道	44
2. 流域対策に関する資料整理	45
2-1. 調整池の設置及び保全	45
2-2 土地等の雨水貯留浸透機能	48
(1) 校庭、公園、駐車場その他広い土地を利用した施設	48
(2) 庁舎、病院、体育館その他大規模な建物又は工作物	52
(3) ため池	55
(4) 水田	58
2-3 利水ダムにおける雨水貯留容量の確保	60
2-4 ポンプ施設との調整	62
2-5 森林の整備及び保全	64

1. 計画地域の概要

1-1. 計画地域の概要

(1) 計画地域の概要

中播磨地域（市川流域圏）（以下、「計画地域」という。）は、天川流域、西浜川流域、八家川流域、市川流域、野田川流域、船場川流域、夢前川流域、汐入川流域、大津茂川流域等で構成され、主に姫路市、高砂市、朝来市、市川町、福崎町、太子町、神河町の3市4町にまたがる地域であり、総人口約60.1万人（令和2年現在）、面積は、約891km²で県土全体の10.6%を占めている。

表 1.1 計画対象河川一覧

対象河川		法河川 延長 (km)	流域面積 (km ²)※1	関係市町 ※2
水系	河川			
天川	天川（あまかわ）	18.720	50.3	姫路市 高砂市 (加古川市) (加西市)
	思出川（おもいでがわ）	3.233		
西浜川	西浜川（にしはまがわ）	1.941	4.7	姫路市 高砂市
八家川	八家川（やかがわ）	4.480	12.8	姫路市
市川	市川（いちかわ）	77.554	506	姫路市 福崎町 市川町 神河町 朝来市
	神谷川（こたにがわ）	5.295		
	須加院川（すかいはがわ）	5.160		
	恒屋川（つねやがわ）	9.190		
	恒屋川放水路（つねやがわほうすいろ）	0.533		
	矢田部川（やたべがわ）	3.690		
	平田川（ひらたがわ）	7.840		
	西谷川（にしにがわ）	2.900		
	七種川（ななぐさがわ）	6.682		
	雲津川（くもづがわ）	3.020		
	岡部川（おかべがわ）	11.235		
	小畑川（おぼたがわ）	5.045		
	尾市川（おいちがわ）	1.875		
	振古川（ふりこがわ）	4.355		
	振古川放水路（ふりこがわほうすいろ）	0.173		
	甲良川（こうらがわ）	1.590		
	越知川（おちがわ）	22.460		
	東山川（ひがしやまがわ）	2.090		
	猪篠川（いざさがわ）	8.082		
	追上川（おいあげがわ）	2.650		
	小田原川（おだわらがわ）	12.100		
	太田川（おおたがわ）	5.315		
	犬見川（いぬみがわ）	6.921		
栃原川（とちはらがわ）	5.709			
倉谷川（くらたにがわ）	1.487			
白口川（しらくちがわ）	3.695			
油谷川（あぶらたにがわ）	1.386			
野田川	野田川（のだがわ）	3.635	7.1	姫路市
	外堀川（そとほりがわ）	2.663		
船場川	船場川（せんばがわ）	11.572	18.2	姫路市
	大野川（おおのがわ）	3.948		
夢前川	夢前川（ゆめさきがわ）	39.667	202	姫路市
	水尾川（みずおがわ）	8.850		
	大井川（おおいがわ）	4.000		
	菅生川（すごうがわ）	24.738		
	坪川（つぼがわ）	5.180		
	護持川（ごじがわ）	3.258		
	明神川（みょうじんがわ）	3.483		
	西山川（にしやまがわ）	2.443		
寺河内川（てらこうちがわ）	3.796			
汐入川	汐入川（しおいりがわ）	3.380	6.4	姫路市
大津茂川	大津茂川（おおつものがわ）	18.608	54.3	姫路市 太子町 (たつの市)
	西汐入川放水路（にししおいりがわほうすいろ）	0.323		
	西汐入川（にししおいりがわ）	5.118		
	網干川（あほしがわ）	1.566		

※1：100km²以上は、整数止め、100km²未満は小数第1位で表示

計画地域には、河川流域以外に、海への直接流域が含まれる

※2：法定河川区間が含まれている市町（ ）書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市

(2) 土地利用・地形

計画地域は、山地が大部分を占めている一方で、南部の臨海部は播磨工業地帯を形成するなど、市街地があり、美しい自然やたくましい産業活動にあふれる色彩豊かな地域となっている。

計画地域内には、国道2号、中国自動車道、山陽自動車道等の幹線道路や、JR山陽新幹線、JR山陽本線、山陽電鉄等の鉄道が東西に延びているほか、播但連絡道、JR播但線が南北を結んでいる。また、河口部の姫路港は国際拠点港湾に指定されており、海運交通の要衝となっている。

更新

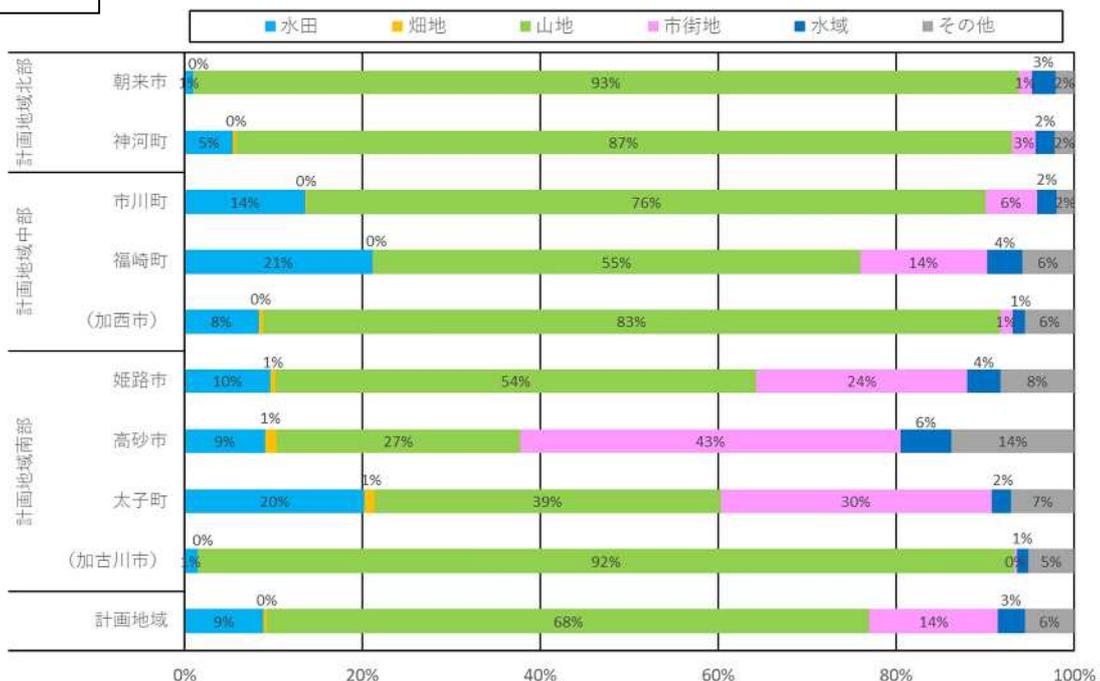
表 1.2 計画地域内の土地利用別面積

市町名	計画地域内の土地利用別面積(k㎡)						合計
	水田	畑地	山地	市街地	水域	その他	
朝来市	1.0	0.0	96.1	1.5	2.8	2.2	103.5
神河町	10.4	0.7	168.2	5.2	4.0	4.3	192.8
市川町	11.2	0.2	62.9	4.8	1.8	1.6	82.5
福崎町	9.7	0.1	25.0	6.5	1.8	2.7	45.7
(加西市)	0.4	0.0	3.8	0.1	0.1	0.3	4.6
姫路市	41.7	2.4	233.4	102.5	16.2	35.7	431.9
高砂市	0.5	0.1	1.5	2.4	0.3	0.8	5.5
太子町	3.7	0.2	7.2	5.6	0.4	1.3	18.4
(加古川市)	0.1	0.0	5.5	0.0	0.1	0.3	5.9
合計	78.6	3.7	603.4	128.6	27.5	49.0	890.8

出典：令和3年 国土数値情報 土地利用データ

※ () 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市

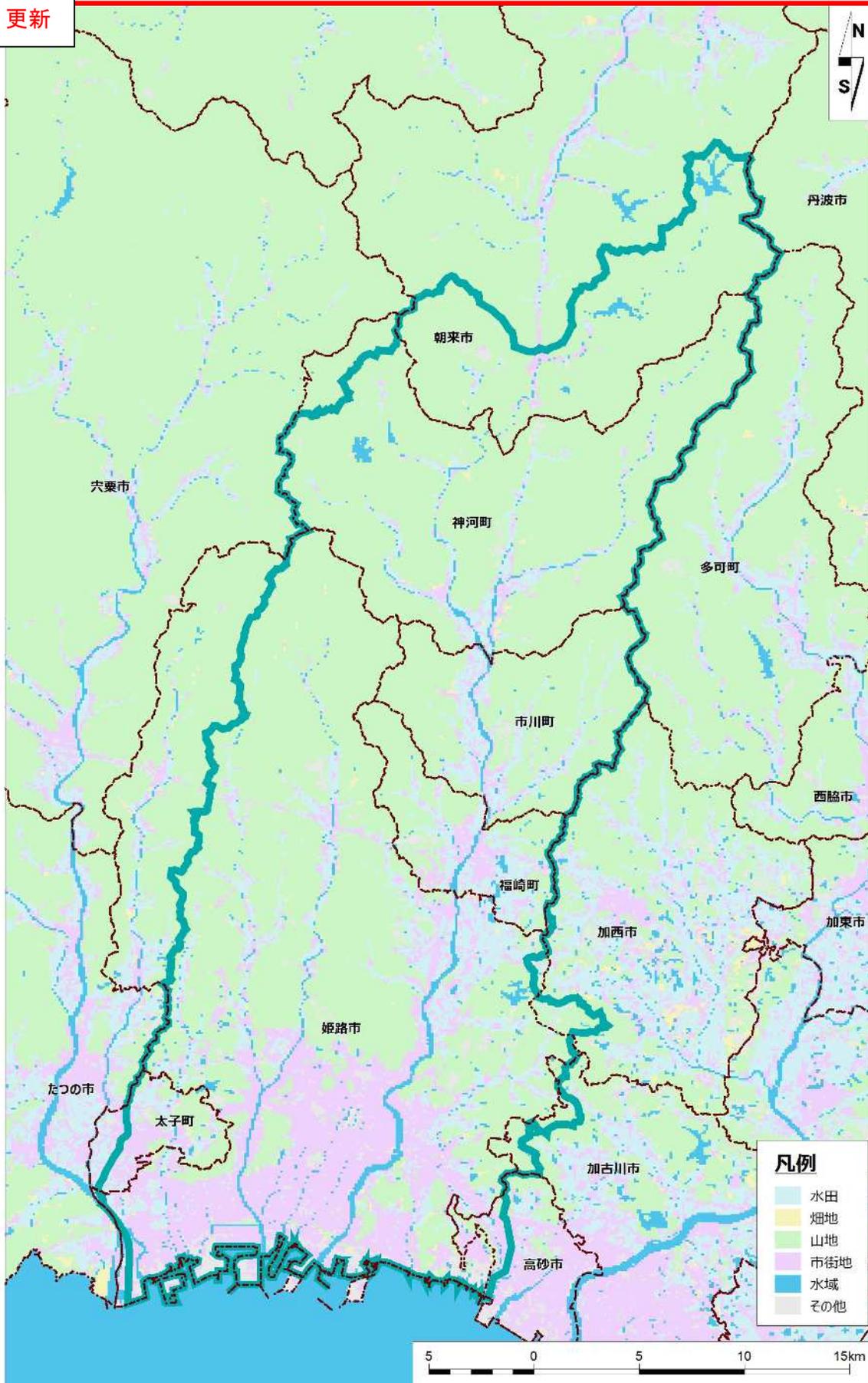
更新



出典：令和3年 国土数値情報 土地利用データ

図 1.1 土地利用割合 (令和3年)

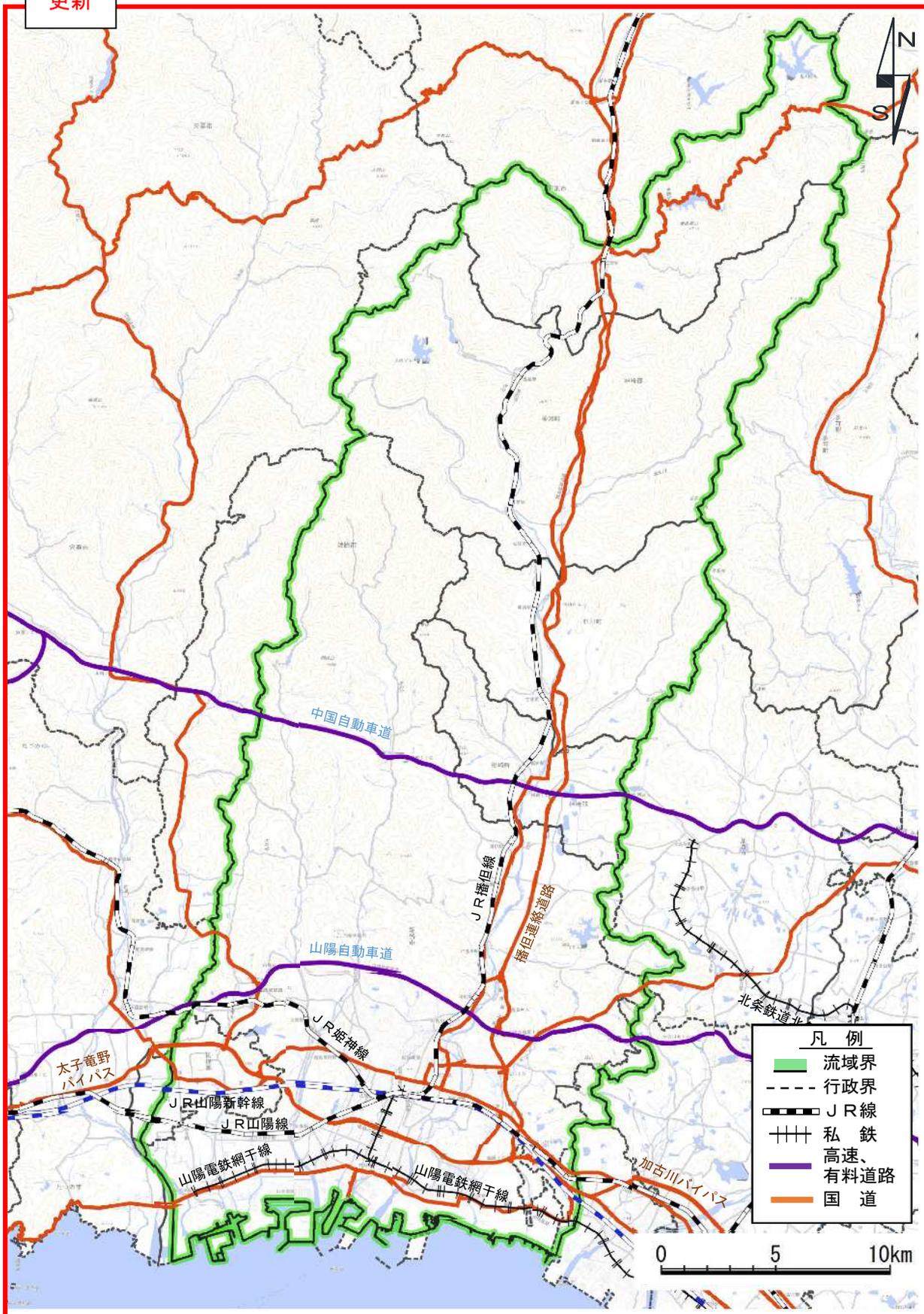
更新



出典：令和3年 国土数値情報 土地利用データ

図 1.2 土地利用分布図

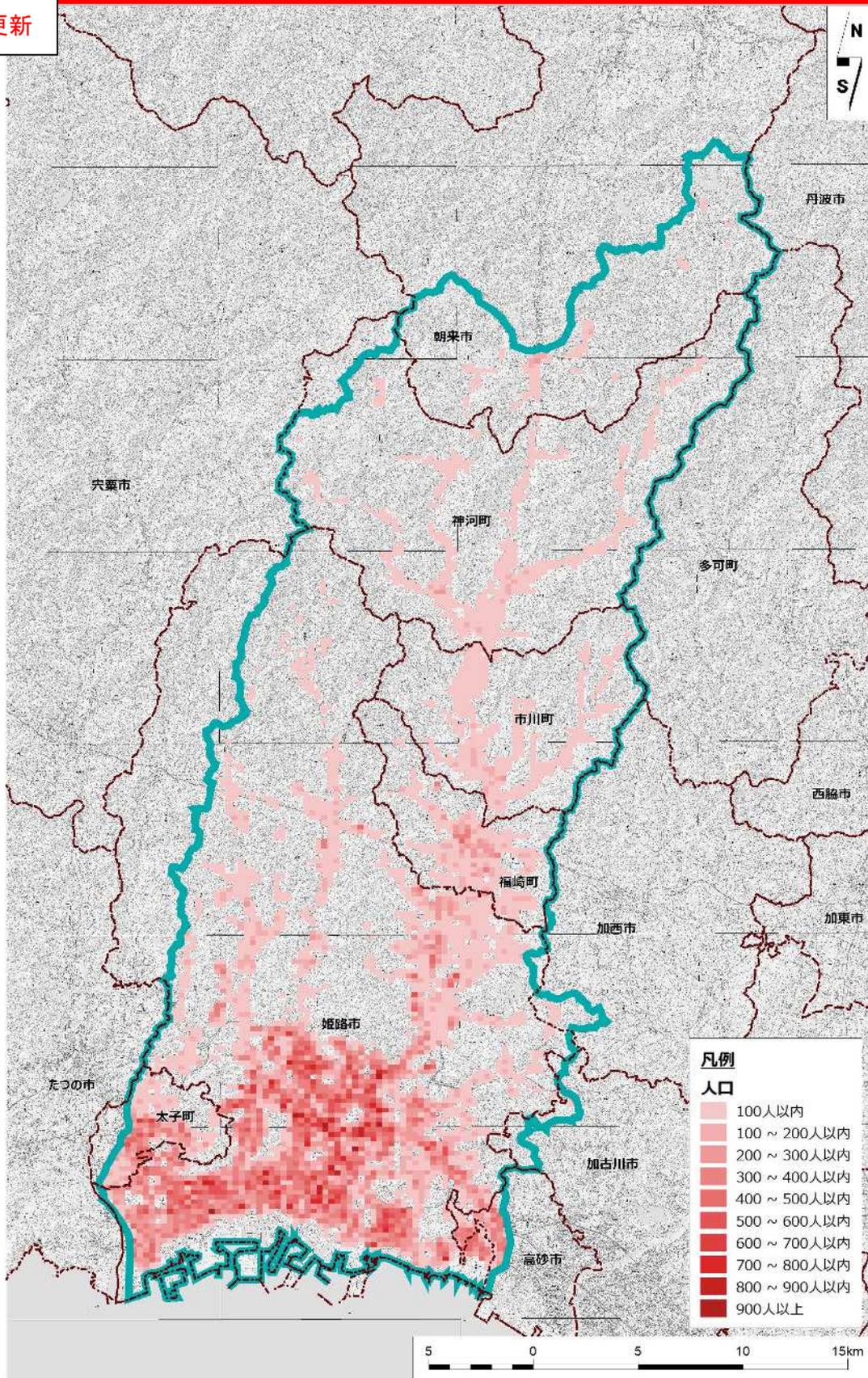
更新



出典：令和3年 国土数値情報 行政地域データ、交通データ（電子地形図 25000(国土地理院)に加筆)

図 1.3 交通網図

更新



出典：令和2年国勢調査 世界測地系 250mメッシュ

図 1.4 人口分布図

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

地形は、標高 800m～1,000m 級の山地が連なる急峻な山岳地形からなり、川沿いに狭い谷底平野が見られる。

地質は、主に中世代白亜紀後期の火山活動により造られた堅硬な流紋岩類（生野層群）により形成される。



出典：姫路土木事務所資料

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部¹⁾、加西市*）】

地形は、標高 200m～500m 程度の小起伏山地及び丘陵地形と礫岩・砂岩等が堆積した谷底平野からなる。

地質は、主に中・古生代に堆積したものが固結した堆積岩類（丹波帯）により形成される。



出典：姫路土木事務所資料

【計画地域：南部（姫路市南部²⁾、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

地形は、市川や夢前川等の河川から運搬された土砂が堆積した扇状地と河口部のデルタ地形で、地形の一部に大起伏丘陵地が見られる。

地質は、主に扇状地では砂礫、デルタ地形では砂、粘土等で形成され、大起伏丘陵地では相生層群により形成される。海沿いの河口部は、埋立地となっているが、姫路市大塩町～網干間にあった古い海岸砂州の名残（現在の国道 250 号付近）も見られる。

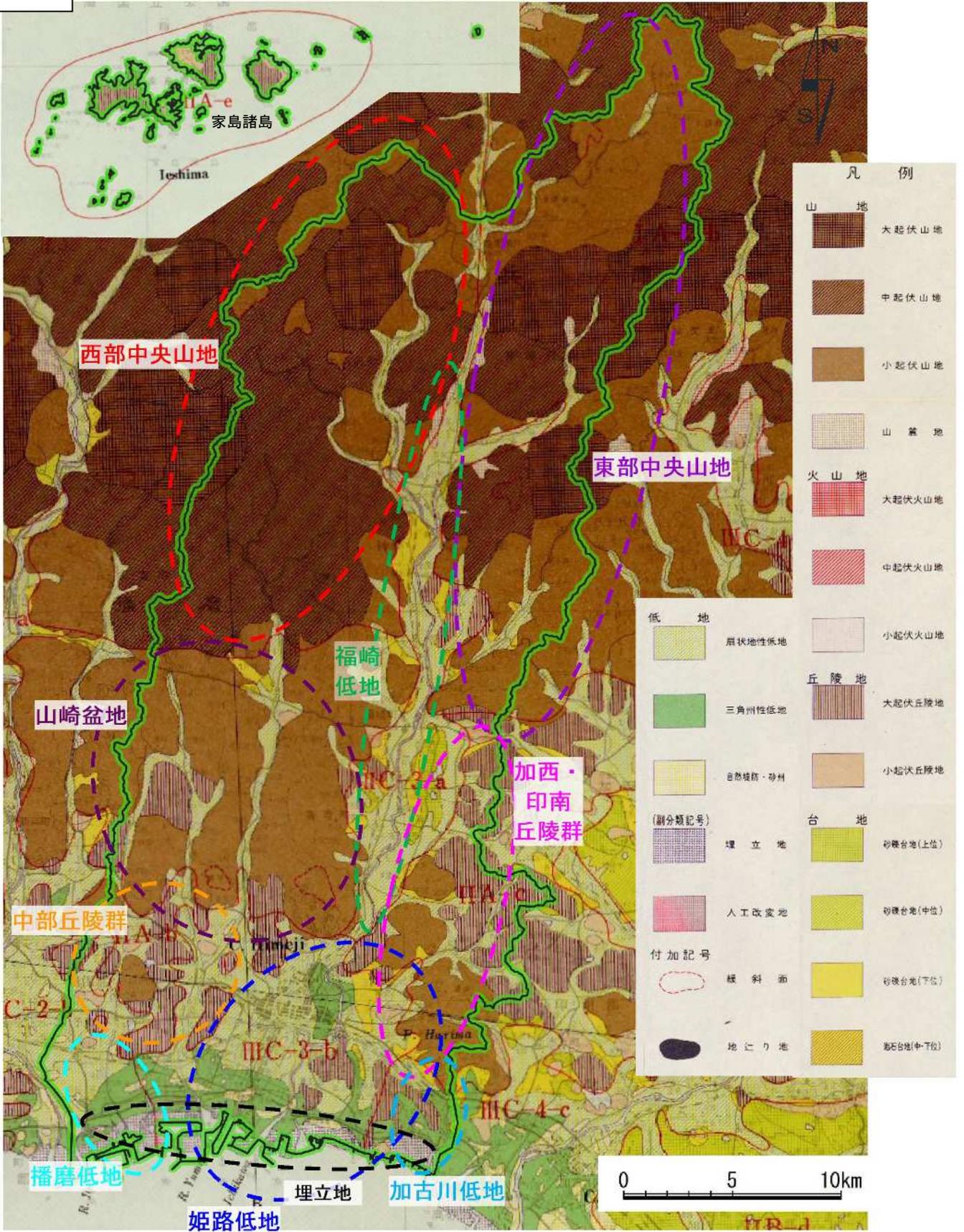


出典：姫路土木事務所資料

1) 姫路市北部：山陽自動車道より北に位置するエリア

2) 姫路市南部：山陽自動車道より南に位置するエリア

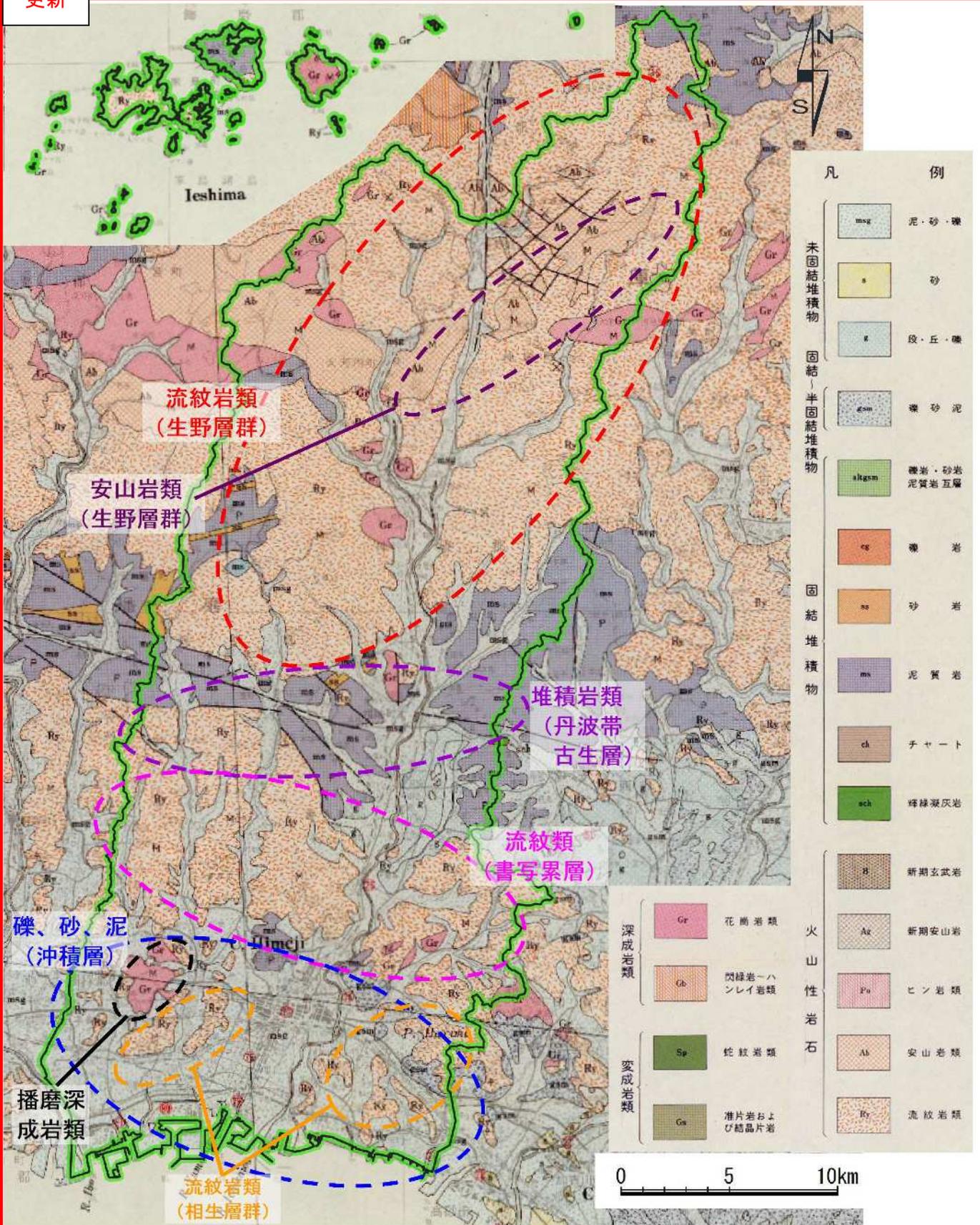
* 加西市、たつの市、加古川市は流域のみで法定河川は含まれていない市



出典：20万分の1土地分類基本調査 地形分類図（国土交通省 国土政策局 国土情報課HP）

図 1.5 地形図

更新



出典：20万分の1土地分類基本調査 表層地質図（国土交通省 国土政策局 国土情報課 HP）

図 1.6 地質図

(3) 気候

気候は、北部山間地の内陸気候地域と、中・南部の瀬戸内海気候地域に大きく二分される。

年平均気温は、計画地域北部の生野観測所で約 13.2℃（1981 年～2022 年の平年値、以下、気温については同様の統計期間）、計画地域中部の福崎観測所で約 14.9℃、計画地域南部の姫路観測所で約 15.4℃と、計画地域中・南部は計画地域北部に比べてやや高く温暖である。

年間降水量は、計画地域北部の生野観測所で約 2,060mm（1981 年～2022 年の平年値、以下、降水量については同様の統計期間）、計画地域中部の福崎観測所で約 1,430mm、計画地域南部の姫路観測所で約 1,250mm と、計画地域中・南部は北部に比べて少なく、全国平均の約 1,700mm を下回っている。

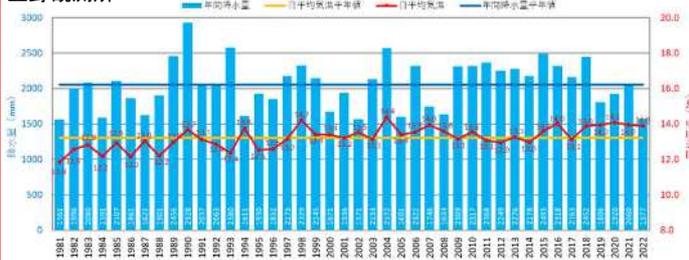
なお全国的には、近年地球温暖化に伴う気候変等に起因して集中豪雨が多発しており、図 1.8 に示すように過去約 50 年間での集中豪雨の発生頻度は増加傾向である。一方、年間降水量は減少傾向にあり、少雨と多雨の変動幅が増大している。

更新

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

計画地域北部の生野観測所において、年平均気温は約 13.2℃、年間降水量が約 2,060mm と全国平均の約 1,700mm を上回っている。

生野観測所



【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

計画地域中部の福崎観測所において、年平均気温は約 14.9℃、年間降水量は約 1,430mm と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

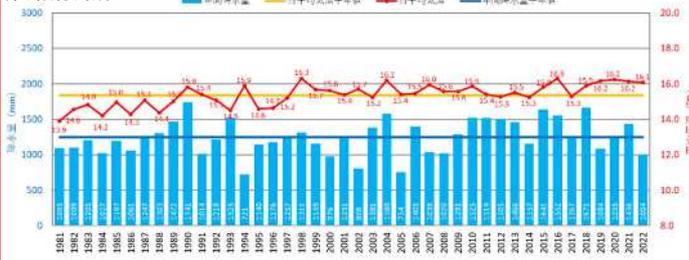
福崎観測所



【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

計画地域南部の姫路観測所において、年平均気温は約 15.4℃、年間降水量は約 1,250mm と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

姫路観測所

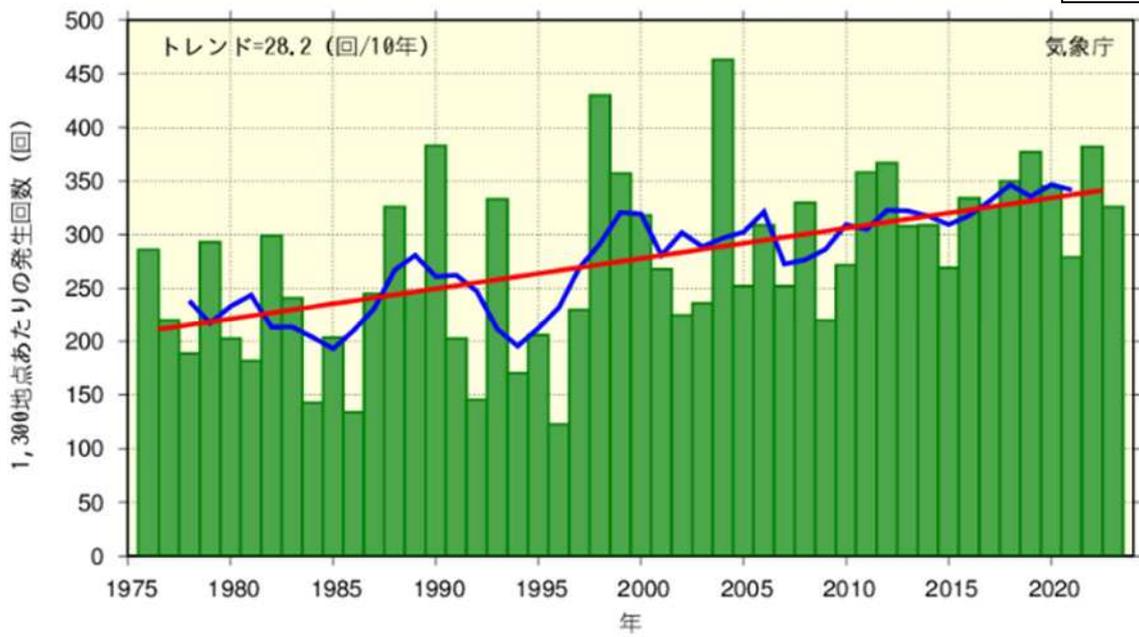


出典：気象庁 HP

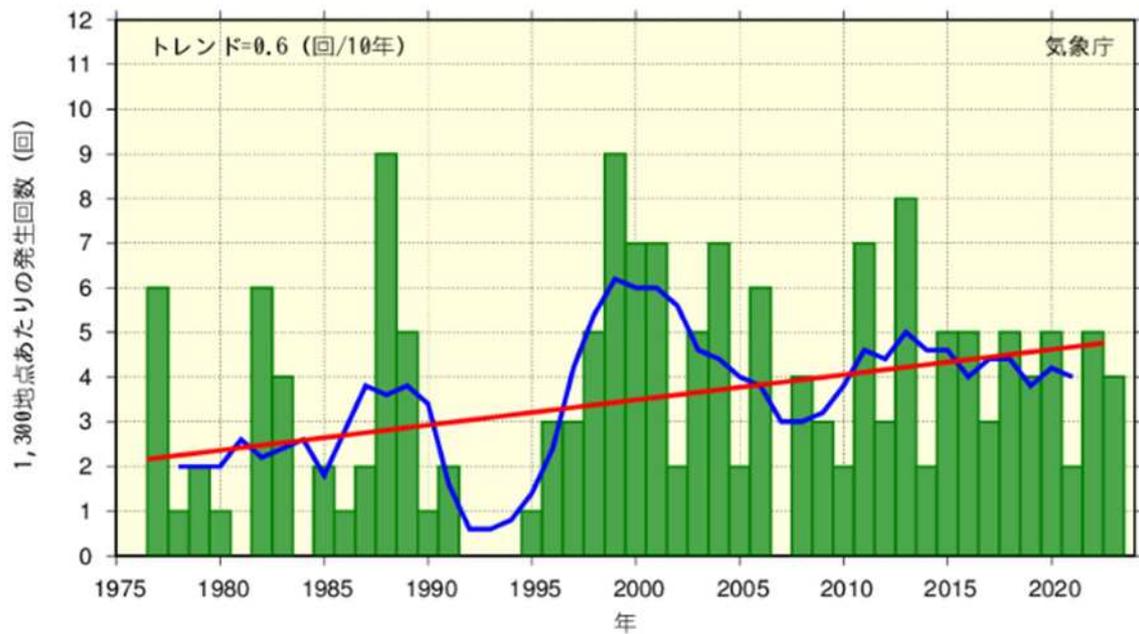
図 1.7 年間降水量・平均気温

1 時間降水量 50mm 以上の年間発生回数

追加



1 時間降水量 100mm 以上の年間発生回数



※棒グラフ（緑）は各年の年間発生回数を示す（全国のアメダスによる観測値を1,300地点あたりに換算した値）。
 ※折れ線（青）は5年移動平均値、直線（赤）は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。

出典：気象庁 HP

図 1.8 近年の短時間降雨の増加傾向

(4) 自然環境

計画地域では、特に山地部や丘陵部に良好な自然環境が残されており、貴重な生態系が保全されている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

植生は、山地には主にスギ・ヒノキ植林地、コナラ群落が広がる。また、雪彦峰山県立自然公園にはクヌギ、ナラ等の広葉樹が広がり、河畔にはエノキ・ムクノキ群集等の夏緑林、スギ・ヒノキ植林地がみられ、河道にはツルヨシ群集が広い範囲にみられる。

魚類については、自然の河床形態が残り、流れは急で、アマゴ^{*}、アユ、ウグイ等、清水を好む魚類の生息域となっている。

底生動物については、渓流域では、カゲロウ類やトビケラ類が生息する。

鳥類については、林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ^{*}がみられる。また、市川流域の一部が仁寿山鳥獣保護区に指定されており、オオタカ^{*}、チョウゲンボウ等の猛禽類やキジが生息している。また、水辺を利用するイワツバメ、ヤマセミ^{*}、カワガラス^{*}がみられる。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

植生は、河畔には竹林、ササ類が広がる箇所もみることができる。河道内の砂州上では広い範囲でツルヨシ群集が形成されている。また、カワヂシャ^{*}、ミゾコウジュ^{*}が確認されている。水際にはミゾソバ群落、河岸にはカナムグラ・アキノノゲシ群落やクズ群落がみられる。夢前川流域の特徴として、高水敷が整備され、芝が張られている。市川流域では、出水による攪乱で成立した「丸石河原」と呼ばれる礫河原にカワラハハコ^{*}等が生息している。

魚類については、瀬と淵のほか、堰による湛水域があり、瀬ではアユやカワヨシノボリが生息し、また淵や堰の湛水域にはシマドジョウ、コイ、フナ類が生息する。また、夢前川流域の特徴として、瀬と淵が連続し、アカザ^{*}やカジカ^{*}が生息する。

底生動物については、砂礫底にはホンサナエ^{*}等のヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタルの幼虫等が生息する。また、市川流域では、モクズガニ等が生息し、中流から下流のワンド・たまり等の止水域では二枚貝類等がみられる。

鳥類については、モズ、ホオジロ等が草地を採餌場として利用するほか、砂州の裸地はチドリ類が営巣場としている。また、サギ類が流水部で採餌したり、カモ類が水面で休息するなどの姿がみられる。夢前川流域の林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ^{*}がみられる。また猛禽類ではミサゴ^{*}、ハイタカ^{*}が確認されている。

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

植生は、河道内の砂州や河岸には、ツルヨシ、オギの群落が見られる。また夢前川流域では、カワヂジャ*、ミゾコウジュ*が確認されている。下流域では、ネズミムギ、セイタカアワダチソウ等の外来種が広い範囲で生育している。河口には塩性湿地に特徴的なヨシ、シオクグや、アイシン*の群落が見られる。また、西浜川流域の山沿いの一部に貴重種であるノジギク*が自生している。八家川流域も同様に自然海岸の小赤壁には、ウバメガシの自然林やノジギク*の自生地等の貴重な自然がある。市川流域の下流には中洲が発達し、ヤナギ林や外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。三角州でも、セイタカアワダチソウが見られる。船場川流域では、計画地域全体に外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。大津茂川流域では、ツルヨシや外来種であるセイタカアワダチソウ等の高茎植物は下流域から継続的にみられる。

魚類については、瀬や淵のほかに堰の湛水域があり、瀬にはアユやオイカワ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ等が見られる。また、八家川流域では、ミナミメダカ*も確認されている。夢前川流域では、堰の湛水域では、イチモンジタナゴ*等が見られる。大津茂川水系では、緩やかな流れを好むコイ類、フナ類等が生息しており、湛水区間が多い大津茂川の状況が生息に適していると考えられるが、瀬や淵では、オイカワやヌマムツ等の生息も確認されている。また、オオクチバスやブルーギル、タイリクバラタナゴ、カムルチー等の外来種も確認されている。

底生動物については、中流域で見られるホンサナエ*等のヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタルの幼虫等が生息する。

鳥類については、カワウ、ヒヨドリ、ドバト、スズメ等が見られ、河道内には、コガモ、カルガモ、マガモ、サギ類等が多くみられる。また、船場川流域ではカワセミ*の飛翔も確認されている。

その他の動物としては、ニホンイシガメ*、クサガメ、外来種のアカミミガメが広範囲で生息しているとともに、船場川流域では、ニホンスッポン*も確認されている。また、市川流域の河口に外来種である小動物のヌートリア、両生類のウシガエルが見られる。夢前川流域の下流から中流にかけてもヌートリアが見られる。

※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2020(植物・植物群落)」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドリスト 2022(昆虫類)」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータリスト 2013(鳥類)」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドリスト 2014(貝類・その他無脊椎動物)」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドリスト 2017(哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類鳥類)」

(5) 歴史・文化

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

市川流域の谷筋は、山陽・山陰をつなぐ交通路で、古くから但馬街道として利用されてきた。山陰との接点には、平安時代初期に開坑したと伝えられ、幕府が直轄で管理していた生野銀山が史跡として残っている。明治初頭には、生野銀山から飾磨港に至る市川沿いに、日本初の高速産業道路「銀の馬車道」が建設され、今日の南北物流の基盤を造った。また、朝来市生野町口銀谷地区の市川沿いには、かつての生野銀山の鉱石が運搬されたトロッコ道跡が残っている。また、神河町新野地区には、昭和 30 年代まで稼働していた水車が現存している。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

夢前川流域の姫路市に書写に円教寺がある。円教寺は、康保 3 年(966 年)に性空上人によって開かれ、多くの信仰を集めて参詣や僧侶の修行の道場として栄え、西の比叡山とも呼ばれる。現在も全国からの参詣者が多く、国指定重要文化財の建造物 8 棟、仏像 8 体が所有されている。また流域では、縄文、弥生、古墳時代等の遺跡が見つかっており、古くから人が暮らしていた様子が伺える。

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

西浜川流域、八家川流域の河口の干拓地、埋立地は、播磨で最初に製塩が行われたと伝えられている。江戸時代には入浜式塩田が広がり、昭和の時代まで続いたが、昭和 46 年に塩田はすべて廃田となった。大塩町は、昭和 34 年に、姫路市に合併されるまで印南郡大塩町（昭和初期大塩町）であったが、浜街道が大塩町を横断しており、道しるべもあったことから、浜街道における重要な一地点であったものと思われる。

夢前川流域では 1656 年に姫路城藩主だった榊原忠次が夢前川の堤防工事を行った。それまで御立地先より今宿地先を経て英賀地先へ流れていた夢前川を、横関から青山に流す堤防工事を行い、それまで下流で起きていた災害を防止した。

船場川流域では、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が多数発掘され、2,000 年ほど昔から船場川の流れを利用したコメ作りが行われてきたことが知られている。また船場川の流れをらせん状の濠として利用することで、姫路城の守りを固めていた。江戸時代の船運の名残として、材木町に高瀬舟の避難場所でもあった船入川や、八代本町に船着き場跡が残っているほか、周辺には、船運の目標となった千代田公園の灯籠（常夜灯）や、高瀬舟を繋いだという龍野町の船繋ぎ石も残っている。

野田川流域には、播磨国総社、正法寺、正明寺、亀山本徳寺等の神社仏閣があり、流域近隣には国宝、国指定文化財、かつ世界文化遺産にも指定されている姫路城が存在する。

*流域のみで法定河川は含まれていない市

1-2. 浸水被害発生状況

計画地域では、昭和 38 年 6 月、昭和 40 年 9 月、昭和 51 年 9 月、平成 2 年 9 月、平成 16 年 8 月、平成 16 年 10 月等、これまで何度も大きな洪水が発生してきた。姫路市では、昭和 40 年 9 月の台風 24 号により、浸水面積 4,000ha、床上浸水 1,424 戸、床下浸水 15,063 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号により、浸水面積 3,253ha、床上浸水 6,891 戸、床下浸水 22,412 戸、平成 2 年 9 月の台風 19 号により、浸水面積 944ha、床上浸水 1,146 戸、床下浸水 7,677 戸の被害が発生した。

近年でも毎年続けて浸水被害が発生している。特に、平成 23 年 9 月の台風 12 号においては、浸水面積約 876.8ha、床上浸水 454 戸、床下浸水 1,379 戸の被害が発生した。また、姫路市において、市川の水位上昇に伴い、3 日 18 時に、市内の約 4 万 2 千世帯、計約 10 万人に避難勧告が発令された。

平成 24 年 6 月に発生した台風 4 号においても、夢前川や船場川で浸水が生じている。また、平成 25 年 9 月の集中豪雨においては、神河町（上越知）で時間雨量 85mm を記録し、市川の福崎観測所においては避難判断水位 5.20m を超過し、最高水位 5.40m を記録した。この豪雨で、福崎町では避難準備情報発令し避難所を開設した。計画地域では、河川、砂防施設、道路等 35 件の災害が発生した。

平成 29 年 9 月に発生した台風 18 号においては、市川の水位上昇に伴い 28 校区 98,774 世帯 219,151 人に避難準備・高齢者等避難開始が発令された。また、姫路市内における床上浸水は 46 戸、床下浸水は 277 戸発生した。



天川流域（高砂市豊根町付近）



天川流域（左岸：高砂市 山陽電車南側）

平成 23 年 9 月 台風 12 号



夢前川流域（姫路市 夢前町山富地区）



船場川流域（姫路市 生矢橋下流左岸）

平成 24 年 6 月 台風 4 号



市川流域 越知川（神河町）



市川流域 越知川（神河町）

平成 25 年 9 月 集中豪雨

図 1.9 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所資料

表 1.3 近年の洪水による被害発生状況（平成 18 年～平成 23 年）

年度	発生年月	異常気象名	水害原因	水系	主な被害河川	水害区域面積 (㎡)			被害家屋棟数 (棟)					一般資産等被害 (千円)	
						宅地その他	農地	計	床上浸水	床上浸水	半壊	全壊流出	計		
H17年	合計					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H18	-	その他の異常気象	内水	夢前川	広畑配水路1号	4,800	0	4,800	17	0	0	0	17	15,101	
			合計			4,800	0	4,800	17	0	0	0	17	15,101	
	6.30-7.25	梅雨前線豪雨	内水	市川	大見川	112	0	112	1	0	0	0	1	1,305	
			合計			1,112	0	1,112	6	0	0	0	6	3,685	
H18年	合計					5,912	0	5,912	23	0	0	0	23	18,786	
H19	-	その他の異常気象	内水	船場川	岡町川	96	0	96	1	0	0	0	1	902	
			内水	野田川	細江川	768	0	768	8	0	0	0	8	7,218	
			合計			864	0	864	9	0	0	0	9	8,120	
H19年	合計					864	0	864	9	0	0	0	9	8,120	
H20	-	その他の異常気象	内水	市川	西御着川	192	0	192	2	0	0	0	2	2,082	
			合計			192	0	192	2	0	0	0	2	2,082	
			9.2-9.5	豪雨	内水	市川	塚古川	2,120	0	2,120	22	0	0	0	4
H20年	合計					2,120	0	2,120	22	0	0	0	4	26,588	
H21	7.17-30	梅雨前線豪雨	内水	市川	北条川	480	0	480	5	0	0	0	5	5,725	
			無堤部溢水	八家川	西御着川	96	0	96	1	0	0	0	1	966	
			内水	野田川	清水川	480	0	480	2	3	0	0	5	18,083	
			合計			1,056	0	1,056	8	3	0	0	11	24,774	
	7.31-8.3	豪雨	内水	市川	北条川	480	0	480	4	1	0	0	5	7,794	
			無堤部溢水	八家川	西御着川	480	0	480	4	1	0	0	5	7,794	
			無堤部溢水	八家川	八家川	768	0	768	8	0	0	0	8	9,514	
			合計			1,728	0	1,728	16	2	0	0	18	25,102	
	8.8-11	台風9号	無堤部溢水	市川	小田原川	91	0	91	1	0	0	0	1	498	
			合計			91	0	91	1	0	0	0	1	498	
	H21年	合計					2,875	0	2,875	25	5	0	0	30	50,374
	H22	5.22-25	豪雨	内水	市川	恒屋川	192	0	192	2	0	0	0	2	1,880
内水				船場川	船場川	192	0	192	2	0	0	0	2	5,193	
内水				船場川	岡町川	288	0	288	3	0	0	0	3	2,393	
内水				大津茂川	高田川	96	0	96	1	0	0	0	1	510	
内水				大津茂川	西脇東川	96	0	96	1	0	0	0	1	940	
内水				八家川	西御着川	288	0	288	3	0	0	0	3	15,257	
内水				夢前川	辻井川	1,344	0	1,344	14	0	0	0	14	13,191	
内水				夢前川	青山出屋敷川	384	0	384	4	0	0	0	4	3,768	
内水				夢前川	青山川	1,440	0	1,440	13	1	0	0	14	31,214	
合計						4,320	0	4,320	43	1	0	0	44	74,346	
H22年				合計					4,320	0	4,320	43	1	0	0
H23	8.30-9.7	台風12号及び豪雨	内水	市川	市川	22,410	0	22,410	98	27	5	0	130	214,776	
			無堤部溢水	市川	岡部川	18,140	159,650	177,790	15	15	0	0	30	31,276,161	
			有堤部溢水	市川	越知川	22,832	17,700	40,532	23	3	0	0	26	279,746	
			その他	市川											
			内水	市川	阿保川・西阿保川	5,664	0	5,664	46	5	0	0	51	77,363	
			無堤部溢水	市川											
			内水	市川	神谷川	1,204	0	1,204	5	2	0	0	7	13,597	
			無堤部溢水	市川	河内川	830	9,870	10,700	1	0	0	0	1	1,925,959	
			内水	市川	兼田川	1,824	0	1,824	15	4	0	0	19	21,843	
			無堤部溢水	市川	御舟川	850	0	850	1	3	0	0	4	11,762	
			内水	市川	中島東	1,344	0	1,344	13	0	0	0	13	13,416	
			無堤部溢水	市川	日原川	1,340	0	1,340	3	1	0	0	4	10,234	
			内水	市川	平田川	1,440	0	1,440	7	8	0	0	15	20,089	
			無堤部溢水	市川	無名河川	14,480	0	14,480	27	15	0	0	42	131,991	
			その他	市川	大見川	23	0	23	0	1	0	0	1	528	
			その他	市川	小田原川	309	0	309	1	0	0	0	1	2,465	
			内水	西浜川	西浜川	15,256	0	15,256	2	1	0	0	3	7,670	
			内水	船場川	船場川	576	0	576	4	2	0	0	6	6,510	
			内水	船場川	新在家南川・岡野川	3,072	0	3,072	25	7	0	0	32	47,065	
			内水	天川	天川	8,415,942	0	8,415,942	699	189	0	0	888	2,832,808	
			内水	天川	小原南川	384	0	384	2	2	0	0	4	7,016	
			内水	天川	大釜川	1,824	0	1,824	6	13	0	0	19	42,687	
			内水	天川	北山川	1,536	0	1,536	8	8	0	0	16	21,016	
			内水	天川	北宿川	5,472	0	5,472	35	22	0	0	57	98,205	
			内水	天川	北野川	672	0	672	7	0	0	0	7	6,464	
			内水	八家川	八家川	13,632	0	13,632	108	34	0	0	142	180,190	
			内水	八家川	八家川・西御着川	1,152	0	1,152	5	7	0	0	12	21,539	
			内水	夢前川	夢前川	480	0	480	5	0	0	0	5	4,613	
			内水	夢前川	御立川	288	0	288	1	2	0	0	3	3,741	
			内水	夢前川	今在家排水路	9,888	0	9,888	79	24	0	0	103	122,834	
			内水	夢前川	今在家排水路1号	384	0	384	4	0	0	0	4	3,691	
			内水	夢前川	水尾川	576	0	576	4	2	0	0	6	6,078	
	内水	夢前川	大井川	9,312	0	9,312	65	32	0	0	97	114,555			
	内水	夢前川	辻井川	6,720	0	6,720	47	23	0	0	70	89,506			
	内水	野田川	細江川	1,820	0	1,820	18	2	0	0	20	24,149			
	合計						8,581,676	187,220	8,768,896	1,379	454	5	0	1,838	37,640,267
	9.15-23	台風15号及び豪雨	内水	市川	阿成川	384	0	384	4	0	0	0	4	3,692	
			内水	市川	阿保川	1,824	0	1,824	6	6	0	0	12	39,850	
			内水	市川	妻鹿川	1,536	0	1,536	3	5	0	0	8	37,489	
			内水	八家川	八家川	2,016	0	2,016	10	4	0	0	14	43,026	
			内水	八家川	宇佐崎排水路6号	576	0	576	5	1	0	0	6	6,026	
			内水	八家川	八家川・西御着川	1,440	0	1,440	4	7	0	0	11	28,122	
	合計						7,776	0	7,776	32	23	0	0	55	158,205
	H23年	合計					8,589,452	187,220	8,776,672	1,411	477	5	0	1,893	37,798,472

出典：国土交通省水害統計調査

追加

表 1.4 近年の洪水による被害発生状況（平成 24 年～平成 27 年）

年度	発生年月	異常気象名	水害原因	水系	主な被害河川	水害区域面積 (㎡)			被害家屋棟数 (棟)					一般資産等被害 (千円)	
						宅地その他	農地	計	床上浸水	床上浸水	半壊	全壊流出	計		
H24	6.14-28	梅雨前線豪雨及び 台風4号	無堤部溢水	市川	岡部川	0	26,367	26,367	0	0	0	0	0	0	-
			無堤部溢水	市川	振吉川	546	4,037	4,583	3	3	0	0	0	6	13,713
			無堤部溢水	市川	尾市川	0	6,193	6,193	0	0	0	0	0	0	-
			無堤部溢水	市川	今井谷川	2,124	107,775	109,899	5	5	0	0	0	10	41,283
			内水	船場川	岡町川	96	0	96	0	1	0	0	0	1	4,592
			内水	船場川	船入川	96	0	96	1	0	0	0	0	1	1,208
			内水	大津茂川	大津茂川	112	0	112	1	0	0	0	0	1	1,057
			内水	八家川	八家川	1,440	0	1,440	15	0	0	0	0	15	18,143
			内水	八家川	八家川	288	0	288	2	1	0	0	0	3	4,223
			内水	八家川	西御着川	576	0	576	2	4	0	0	0	6	13,724
			無堤部溢水	夢前川	夢前川	7,672	13,000	20,672	26	1	0	0	0	27	36,039
			内水	夢前川	青山北川	816	0	816	0	2	0	0	0	2	44,928
			内水	夢前川	大井川	6,912	0	6,912	70	2	0	0	0	72	91,504
			内水	夢前川	辻井川	96	0	96	1	0	0	0	0	1	1,208
			内水	夢前川	溝田川	284	0	284	3	1	0	0	0	4	7,409
			内水	夢前川	今在家排水路	96	0	96	0	1	0	0	0	1	1,429
			内水	夢前川	青山川	192	0	192	1	1	0	0	0	2	3,015
			内水	夢前川	青山排水路	96	0	96	1	0	0	0	0	1	1,208
			合計			21,442	157,372	178,814	131	22	0	0	0	153	284,683
	6.29-7.8	梅雨前線豪雨	内水	市川	妻鹿川	96	0	96	1	0	0	0	1	1,208	
			内水	船場川	船場川	192	0	192	0	2	0	0	2	6,830	
			内水	大津茂川	西汐入川	96	0	96	0	1	0	0	1	4,592	
			内水	八家川	八家川	96	0	96	1	0	0	0	1	1,208	
			内水	八家川	西御着川	96	0	96	0	1	0	0	1	2,238	
			内水	夢前川	今在家排水路	96	0	96	0	1	0	0	1	2,238	
			内水	夢前川	西蒲田川	96	0	96	1	0	0	0	1	1,208	
			内水	夢前川	青山川	192	0	192	1	1	0	0	2	3,446	
			合計			960	0	960	4	6	0	0	10	22,968	
			H24年 合計			22,402	157,372	179,774	135	28	0	0	0	163	307,651
	H25	8.29-9.5	豪雨	無堤部溢水	市川	越知川	117	0	117	0	2	0	0	2	6,893
				土石流	市川	高坂川	0	4,120	4,120	0	0	0	0	0	144
				無堤部溢水	市川	中茶屋川	140	2,030	2,170	3	0	0	0	3	2,562
有堤部溢水				市川	金岩谷川	133	0	133	2	1	0	0	3	4,862	
有堤部溢水				市川	慈僧谷川	240	0	240	2	1	0	0	3	7,215	
有堤部溢水				市川	中島川	100	7,910	8,010	2	0	0	0	2	2,030	
有堤部溢水				市川	鶴居水路	0	1,320	1,320	0	0	0	0	0	74	
有堤部溢水				市川	東山谷川	130	0	130	0	2	0	0	2	7,865	
有堤部溢水				市川	福山川	100	0	100	1	0	0	0	1	1,273	
内水															
土石流															
有堤部溢水				市川	無名河川	6,062	18,450	24,512	53	5	0	0	58	106,614	
その他															
無堤部溢水															
内水				汐入川	汐入川	96	0	96	1	0	0	0	0	1	948
内水				大津茂川	高田川	96	0	96	1	0	0	0	0	1	948
内水				八家川	西御着川	192	0	192	1	1	0	0	0	2	4,790
内水				夢前川	夢前川	672	0	672	7	0	0	0	0	7	6,651
内水				夢前川	水尾川	96	0	96	1	0	0	0	0	1	948
内水		夢前川	辻井川	96	0	96	1	0	0	0	0	1	948		
内水		夢前川	青山出屋敷川	576	0	576	6	0	0	0	0	6	5,700		
内水		夢前川	東夢前川	192	0	192	2	0	0	0	0	2	1,899		
合計				9,038	33,830	42,868	83	12	0	0	0	95	162,364		
9.14-17		台風18号	内水	大津茂川	西汐入川	96	0	96	1	0	0	0	1	948	
			合計			96	0	96	1	0	0	0	1	948	
H25年 合計				9,134	33,830	42,964	84	12	0	0	0	96	163,312		
H26		7.29-8.12	台風12号・11号及び豪雨	内水	市川	北条川	769	0	769	5	0	0	0	5	4,719
	内水			汐入川	才西川	444	0	444	2	0	0	0	2	1,887	
	内水			船場川	船場川	135	0	135	1	0	0	0	1	942	
	内水			船場川	地蔵川	183	0	183	4	0	0	0	4	3,775	
	内水			船場川	岡町川	638	0	638	5	1	0	0	6	8,418	
	内水			大津茂川	余子浜川	375	0	375	7	0	0	0	7	6,607	
	内水			天川	思出川	302	0	302	1	0	0	0	1	942	
	内水			天川	上原田川	546	0	546	3	0	0	0	3	2,829	
	内水			八家川	八家川	884	0	884	8	0	0	0	8	7,552	
	内水			八家川	西御着川	563	0	563	1	1	0	0	2	4,641	
	内水			八家川	東山排水路	769	0	769	7	0	0	0	7	6,607	
	内水			八家川	落合川	100	0	100	1	0	0	0	1	942	
	内水			夢前川	夢前川	228	0	228	1	0	0	0	1	942	
	内水			夢前川	大井川	181	0	181	1	0	0	0	1	942	
	内水			夢前川	笹川	232	0	232	1	0	0	0	1	942	
	内水			夢前川	英賀南排水路	85	0	85	1	0	0	0	1	942	
	内水			夢前川	広畑排水路2号	137	0	137	1	1	0	0	2	18,249	
	内水			夢前川	今宿川	87	0	87	1	0	0	0	1	942	
	内水			夢前川	青山出屋敷川	182	0	182	4	0	0	0	4	3,775	
	内水			夢前川	土山川	58	0	58	1	0	0	0	1	942	
	合計					6,898	0	6,898	56	3	0	0	59	77,537	
	H26年 合計					6,898	0	6,898	56	3	0	0	0	59	77,537
	H27			7.15-23	台風11号及び 豪雨	内水	市川	善坂川	25	0	25	1	0	0	0
内水		八家川	西御着川			71	0	71	0	1	0	0	1	3,808	
内水		夢前川	英賀南排水路			249	0	249	3	0	0	0	3	2,972	
内水		夢前川	青山出屋敷川			60	0	60	1	0	0	0	1	989	
合計						405	0	405	5	1	0	0	6	8,758	
H27年 合計			405	0	405	5	1	0	0	0	6	8,758			

出典：国土交通省水害統計調査

追加

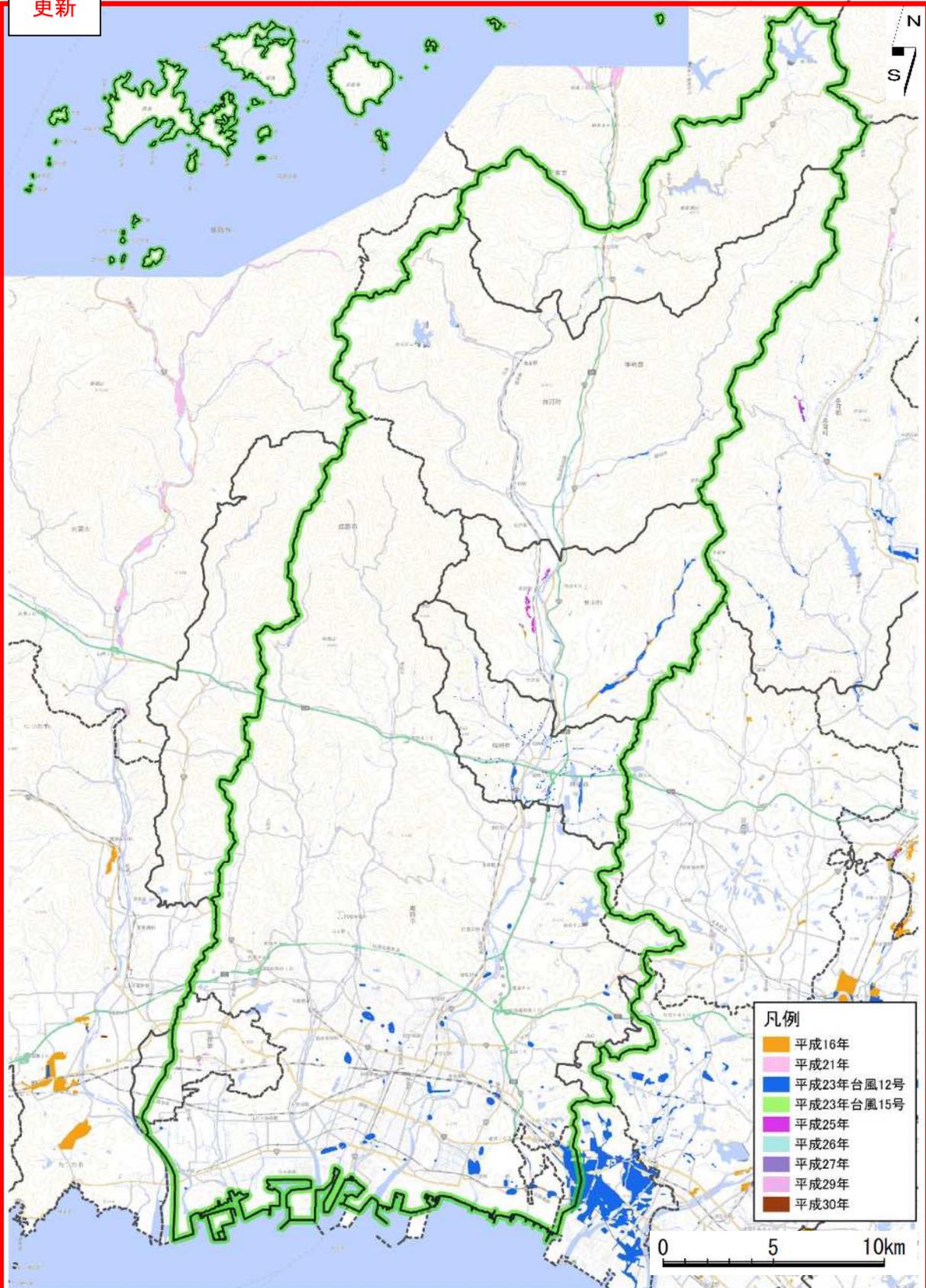
表 1.5 近年の洪水による被害発生状況（平成 28 年～令和 2 年）

年度	発生年月	異常気象名	水害原因	水系	主な被害河川	水害区域面積 (㎡)			被害家屋棟数 (棟)					一般資産等被害 (千円)	
						宅地その他	農地	計	床下浸水	床上浸水	半壊	全壊流出	計		
H28	該当なし														
H28年	合計					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	8.14-21	豪雨	破堤	市川	市川	500	0	500	1	0	0	0	0	1	3,184
			破堤	市川	渡部川	2,170	0	2,170	20	1	0	0	0	21	42,371
			破堤	市川	甲良川	110	0	110	1	0	0	0	0	1	1,713
			破堤	市川	小畑川	1,110	0	1,110	11	0	0	0	0	11	19,343
			破堤	市川	振古川	315	0	315	9	0	0	0	0	9	12,873
			破堤	市川	尾市川	30	0	30	1	0	0	0	0	1	1,901
			破堤	市川	河内川	880	0	880	6	0	0	0	0	6	12,530
			破堤	市川	御舟川	1,430	0	1,430	9	2	0	0	0	11	25,597
			破堤	市川	日原川	885	0	885	8	3	0	0	0	11	39,534
			合計			7,430	0	7,430	66	6	0	0	0	72	159,046
	9.14-18	台風18号及び豪雨	内水	沙入川	沙入川	250	0	250	0	1	0	0	0	1	5,724
			有堤部溢水	船場川	船場川	500	0	500	1	1	0	0	0	2	13,330
			内水	船場川	船場川	900	0	900	1	5	0	0	0	6	23,884
			内水	大津茂川	西沙入川	50	0	50	0	1	0	0	0	1	3,924
内水			八家川	八家川	380	0	380	0	2	0	0	0	2	9,828	
内水			八家川	西御着川	250	0	250	0	1	0	0	0	1	4,824	
有堤部溢水			八家川	八家川	250	0	250	0	1	0	0	0	1	5,364	
内水			野田川	新堀川	300	0	300	0	3	0	0	0	3	10,547	
合計					2,880	0	2,880	2	15	0	0	0	17	77,425	
H29年			合計				61,360	0	61,360	208	39	0	0	247	526,969
H30	—	その他の異常気象	内水	市川	大蓋川	200	0	200	2	0	0	0	0	2	5,238
			内水	市川	北条川	200	0	200	2	0	0	0	0	2	4,120
			内水	八家川	八家川	200	0	200	2	0	0	0	0	2	2,026
			内水	八家川	西御着川	100	0	100	1	0	0	0	0	1	1,012
			内水	野田川	外堀川	400	0	400	4	0	0	0	0	4	10,462
			合計			1,100	0	1,100	11	0	0	0	0	11	22,858
	6.26-7.9	梅雨前線豪雨及び台風7号	内水	市川	市川	50	0	50	1	0	0	0	0	1	494
			内水	市川	小田原川	60	0	60	1	0	0	0	0	1	524
			内水	市川	大妻川	100	0	100	0	0	0	0	1	19,050	
			内水	夢前川	西山川	100	0	100	1	0	0	0	0	1	1,012
			合計			310	0	310	3	0	0	0	1	4	21,080
	8.20-25	台風19号・台風20号及び豪雨	内水	大津茂川	無名河川	4	0	4	0	0	0	0	1	1	3,601
			合計			4	0	4	0	0	0	0	1	1	3,601
	H30年	合計				1,414	0	1,414	14	0	0	2	16	47,539	
R01	9.11-13	豪雨	内水	夢前川	青弓川	941	0	941	0	2	0	0	2	167,941	
			合計			941	0	941	0	2	0	0	2	167,941	
R01年	合計				941	0	941	0	2	0	0	2	167,941		
R02	該当なし														
R02年	合計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※H27年以降の被害数量は対象河川で発生した内水・溢水・破堤に限定

出典：国土交通省水害統計調査

更新



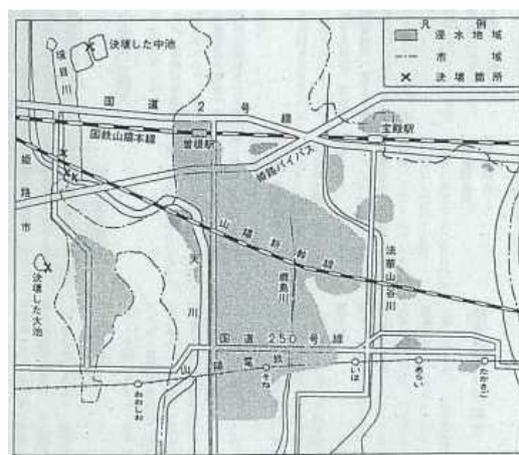
出典：兵庫県HP（電子地形図25000(国土地理院)に加筆)

図 1.10 近年の洪水被害による実績浸水区域図

【天川水系】

昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、天川左岸 2 カ所の決壊、天川へ流れ込む境目川の氾濫、中池の決壊等によって膨大な量の水が天川の左岸沿いに南下し、曾根駅の周辺や曾根町や伊保町等で大きな被害が発生した。

近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、高砂市の天川流域に係る市街地で床上浸水 218 棟、床下浸水 1,173 棟という、大きな被害が発生した。これは、台風による集中豪雨と満潮が重なった影響による。



出典：高砂市政だより 災害特集号

図 1.11 昭和 51 年 9 月の台風 17 号の浸水による被災地域

表 1.6 昭和 51 年 9 月の台風 17 号の被害状況

	家屋 全壊	家屋 半壊	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
高砂町	0	1	8	97	379
荒井町	0	0	1	137	500
伊保町	0	0	140	704	3,078
曾根町	1	0	916	580	5,785
米田町	0	0	1	22	81
阿弥陀町	0	0	349	155	1,813
北浜町	0	1	169	329	1,893
計	1	2	1,584	2,024	13,529

表 1.7 平成 23 年 9 月の台風 12 号の被害状況

地区名※	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
阿弥陀地区	100	485	641
北浜地区	0	2	2
中筋地区	22	133	186
曾根地区	96	553	716
合計	218	1,173	1,391

※天川流域に係る地区のみを抽出

出典：平成23年台風12号による災害対応検証報告書(高砂市平成23年台風12号災害対応検証委員会)

出典：高砂市市政だより 災害特集号

【西浜川水系】

西浜川では、昭和 51 年 9 月の洪水で流域の大部分が浸水した。近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、浸水面積 1.5ha、浸水家屋 3 棟の被害が発生した。

表 1.8 主要洪水の被害概要

洪水年月日	異常気象名	浸水面積 (m ²)			浸水家屋 (棟)			備考
		宅地 その他	農地	合計	床下 浸水	床上 浸水	合計	
H23. 8. 30~9. 7	台風 12 号及び豪雨	15, 256	0	15, 256	2	1	3	

出典：国土交通省水害統計調査

【八家川水系】

八家川流域では、埋め立てられた低平地を中心に地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすい。

昭和 40 年 9 月の洪水では、床上浸水 70 棟、床下浸水 200 棟、浸水面積 101ha の被害が発生した。また、平成 2 年 9 月の洪水では床上浸水 92 棟、床下浸水 296 棟、浸水面積 140ha の被害が発生した。

近年では、平成 16 年 8 月の台風 16 号により、床上浸水 32 戸、床下浸水 169 戸、浸水面積 12.7ha の被害が発生した。その他、平成 16 年 9 月の台風 18 号により、床上浸水 1 棟、床下浸水 28 棟、台風 21 号により床下浸水 3 棟の被害が発生した。

また、平成 23 年 8 月には台風 12 号の影響により、床上浸水 41 棟、床下浸水 113 棟、浸水面積 1.5ha の大きな被害が発生した。

更新

表 1.9 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S40. 9. 10~15	台風 23 号	101.0	70	200	270	
H2. 9. 17~20	台風 19 号	140.0	92	296	388	
H16. 8. 30~31	台風 16 号	12.7	32	169	201	
H16. 9. 7	台風 18 号	2.5	1	28	29	
H16. 9. 28~30	台風 21 号	—	0	3	3	
H23. 8. 30~9. 7	台風 12 号 及び豪雨	1.5	41	113	154	
H24. 6. 14~28	梅雨前線豪雨 及び台風 4 号	0.2	5	19	24	
H25. 8. 29~9. 5	豪雨	0.01	1	1	2	
H26. 7. 29~8. 12	台風 11 号及 び豪雨・12 号	0.2	1	17	18	
H27. 7. 15~23	台風 11 号及 び豪雨	0.01 未満	1	0	1	原因が内水、溢 水、破堤に限定
H29. 9. 14~18	台風 18 号及 び豪雨	0.09	4	0	4	原因が内水、溢 水、破堤に限定
H30	異常気象	0.03	0	3	3	原因が内水、溢 水、破堤に限定 生起日記載なし

出典：八家川水系河川整備基本方針及び国土交通省水害統計調査



平成 16 年 8 月台風 16 号

出典：姫路土木事務所資料



平成 16 年 9 月台風 18 号

出典：姫路土木事務所資料

図 1.12 浸水状況写真

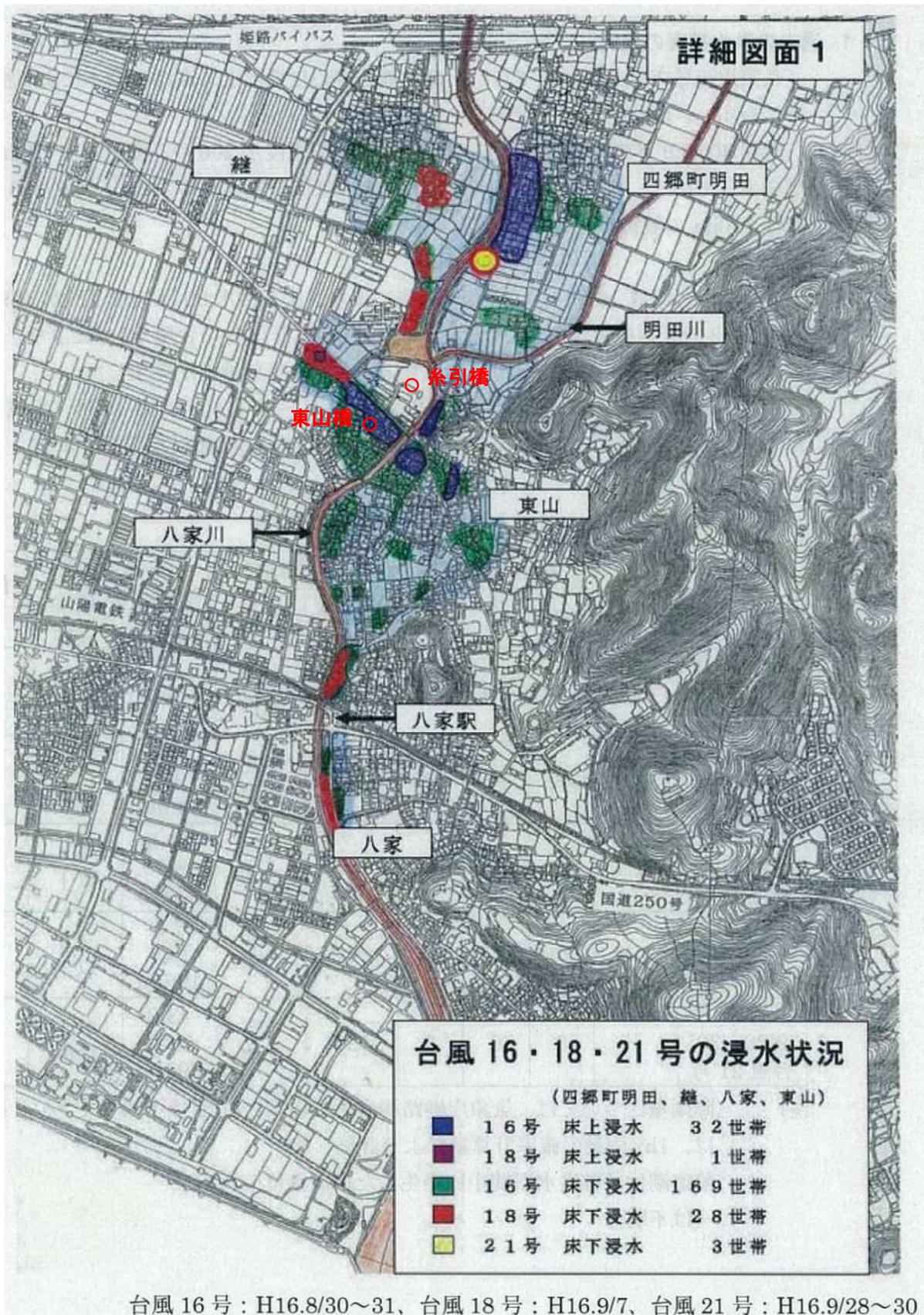


図 1.13 実績浸水区域図

【市川水系】

市川水系で大きな被害を起こした洪水は、昭和 13 年 7 月洪水、昭和 38 年 6 月洪水、昭和 40 年 9 月洪水、平成 2 年 9 月洪水である。

阪神大水害が起こった昭和 13 年 7 月には、市川の濁流によって山陽電鉄妻鹿鉄橋が水没・湾曲した。昭和 38 年 6 月洪水では、市川の堤防が決壊し、浸水面積 3,020ha、浸水家屋 2,179 棟の被害が発生した。

近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号及び豪雨により、床上浸水 84 戸、床下浸水 255 戸、浸水面積 27.99ha の被害が発生した。

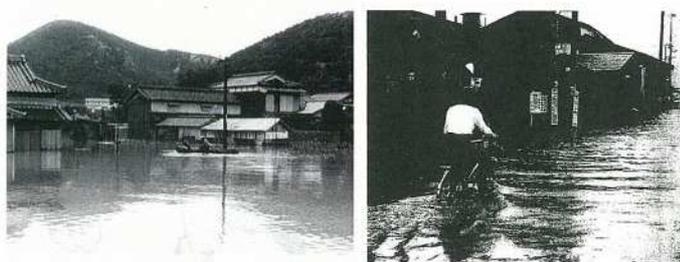
更新

表 1.10 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S13.7	集中豪雨	—	—	—	—	山陽電鉄妻鹿鉄橋が市川の濁流によって水没・湾曲
S38.6	梅雨前線	3,020	841	1,338	2,179	市川堤防決壊、山陽電鉄軌道敷水没
S39.9	台風 20 号	10	—	—	38	
S40.9	台風 23, 24 号	535	—	—	896	
S51.9	台風 17 号	—	—	—	402	
H2.9	台風 19 号	40	100	1,074	1,174	
H16.8	台風 19 号	0.18	—	—	0	
H16.10	台風 23 号	0.05	—	—	2	
H23.9	台風 12 号 及び豪雨	27.99	84	255	339	
H24.6	梅雨前線豪雨 及び台風 4 号	14.70	8	8	16	
H25.9	豪雨	4.09	11	63	74	
H29.8	豪雨	0.74	6	66	72	原因が内水、溢水、破堤に限定

注) 浸水面積、浸水家屋数、『水害統計』(国土交通省河川局)による。

出典：市川水系河川整備計画及び国土交通省水害統計調査



昭和 38 年 6 月【姫路市妻鹿地区】

出典：昭和のあゆみ 妻鹿

図 1.14 浸水状況写真

【野田川水系】

野田川水系周辺は、平坦な地形に加え、特に、下流部では地盤が低いため、水はけが悪く、洪水や高潮による被害を受けやすい。昭和 20 年代、30 年代には毎年のように浸水被害を受けたが、近年では、大きな洪水被害が発生していない。

表 1.11 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S26. 7. 2	ケイト台風	1,502	17	2,491	2,508	家屋全壊 5 戸、田畑流出 99ha、小舟流出 5 隻
S26. 10. 15	ルース台風	—	—	—	—	負傷者 1 名、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 26 戸、橋の被害 2 件
S27. 7. 2	梅雨	—	—	1,087	1,087	堤防決壊 11 件、道路崩落 3 件、山崩れ崖崩れ 3 件
S29. 6. 7	台風 2 号	762.1	16	2,391	2,407	堤防決壊 8 件、橋の流出 3 件、小舟流出 5 隻
S29. 9. 26	台風 15 号	470	69	167	236	死者 1 名、負傷者 5 名、家屋全壊 16 戸、堤防決壊 24 件
S34. 9. 26	伊勢湾台風	—	6	—	6	家屋全壊 4 戸、家屋半壊 16 戸、家屋浸水 20 戸(非住家)
S35. 8. 29	台風 16 号	—	6	370	376	家屋全壊 4 戸、家屋半壊 26 戸、道路決壊 2 力所、堤防決壊 9 力所
S36. 9. 16	第二室戸台風	203	82	1,793	1,875	堤防決壊 5 力所、溢水 9 力所、崖崩れ 2 力所
S38. 6. 4	梅雨	—	400	1,115	1,515	家屋倒壊 1 戸、家屋半壊 3 戸、土砂流入 3 戸
S40. 9. 10	台風 23 号	520	729	1,969	2,698	死者 6 名、重傷者 14 名、家屋全壊 29 戸、家屋半壊 99 戸、堤防決壊 36 力所、道路損壊 17 力所、橋の流出 2 件
S40. 9. 13~ 9. 17	台風 24 号	4000	1,424	15,063	16,487	死者 2 名、行方不明者 1 名、家屋全壊流出 11 戸、家屋半壊 28 戸、ため池決壊 7 力所、崖崩れ 30 力所、河川欠損 19 力所
S49. 7. 7	台風 8 号	700	53	1,269	1,322	橋流出 1 件、堤防決壊 1 力所、山・崖崩れ 6 力所
S51. 9. 8~ 9. 13	台風 17 号	3,253	6,891	22,412	29,303	死者 6 名、負傷者 4 名、家屋全壊 7 戸、家屋半壊 63 戸、橋流出 12 件、道路決壊 128 力所、山・崖崩れ 241 力所
S57. 8. 8	台風 10 号	—	408	2,337	2,745	崖崩れ 6 力所、堤防溢水 2 力所
S58. 9. 27	台風 10 号	—	—	207	207	山崩れ 1 力所、堤防溢水 1 力所
S62. 10. 17	台風 19 号	700	53	1,259	1,312	橋流出 1 件、堤防決壊 1 力所、山・崖崩れ 6 力所
H2. 9. 12~ 9. 20	梅雨前線・ 台風 19 号	944	1,146	7,667	8,813	死者 1 名、家屋半壊 3 戸、橋流出等 3 件、堤防浸食等 30 力所、山・崖崩れ 46 力所、道路決壊 115 力所
H3. 9. 27	台風 19 号	—	—	14	14	家屋破壊 21 戸、停電戸数 36,000 戸、電話不通 5,000 戸
H23. 8. 30~ 9. 7	台風 12 号 及び豪雨	0.2	2	18	20	

注)：浸水面積、浸水家屋は姫路市全域での値を記載

出典：国土交通省水害統計調査

【船場川水系】

船場川流域は、市川の氾濫原であり、地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすく、昭和 51 年 9 月の台風 17 号、平成 2 年 9 月の台風 19 号等では浸水被害が発生した。近年では平成 16 年 10 月の台風 23 号により浸水面積約 30ha、浸水家屋 179 戸の被害が発生した。

更新

表 1.12 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S38. 6. 4	梅雨前線	—	400	1, 115	1, 515	
S40. 9. 9	台風 23 号	520	729	1, 969	2, 698	
S40. 9. 14	台風 24 号	4, 000	1, 424	15, 063	16, 487	
S51. 9. 10	台風 17 号	3, 253	6, 891	22, 412	29, 303	
S62. 10. 18	台風 19 号	700	53	1, 269	1, 322	
H2. 9. 19	台風 19 号	944	1, 146	7, 667	8, 813	
H16. 10. 19*)	台風 23 号	30	12	167	179	
H23. 8. 30~9. 7	台風 12 号 及び豪雨	0. 4	9	29	38	
H24. 6. 14~20	梅雨前線豪雨 及び台風 4 号	0. 01	1	1	2	
H26. 7. 29~ 8. 12	台風 11 号及 び豪雨、台風 12 号	0. 1	1	10	11	
H29. 9. 14~18	台風 18 号及 び豪雨	0. 1	6	2	8	原因が内水、溢 水、破堤に限定

注)：浸水戸数・面積は姫路市全域での値を記載

*)：船場川流域のみ浸水が発生したため、浸水戸数、面積は船場川流域のみの値である

出典：船場川水系河川整備計画及び国土交通省水害統計調査



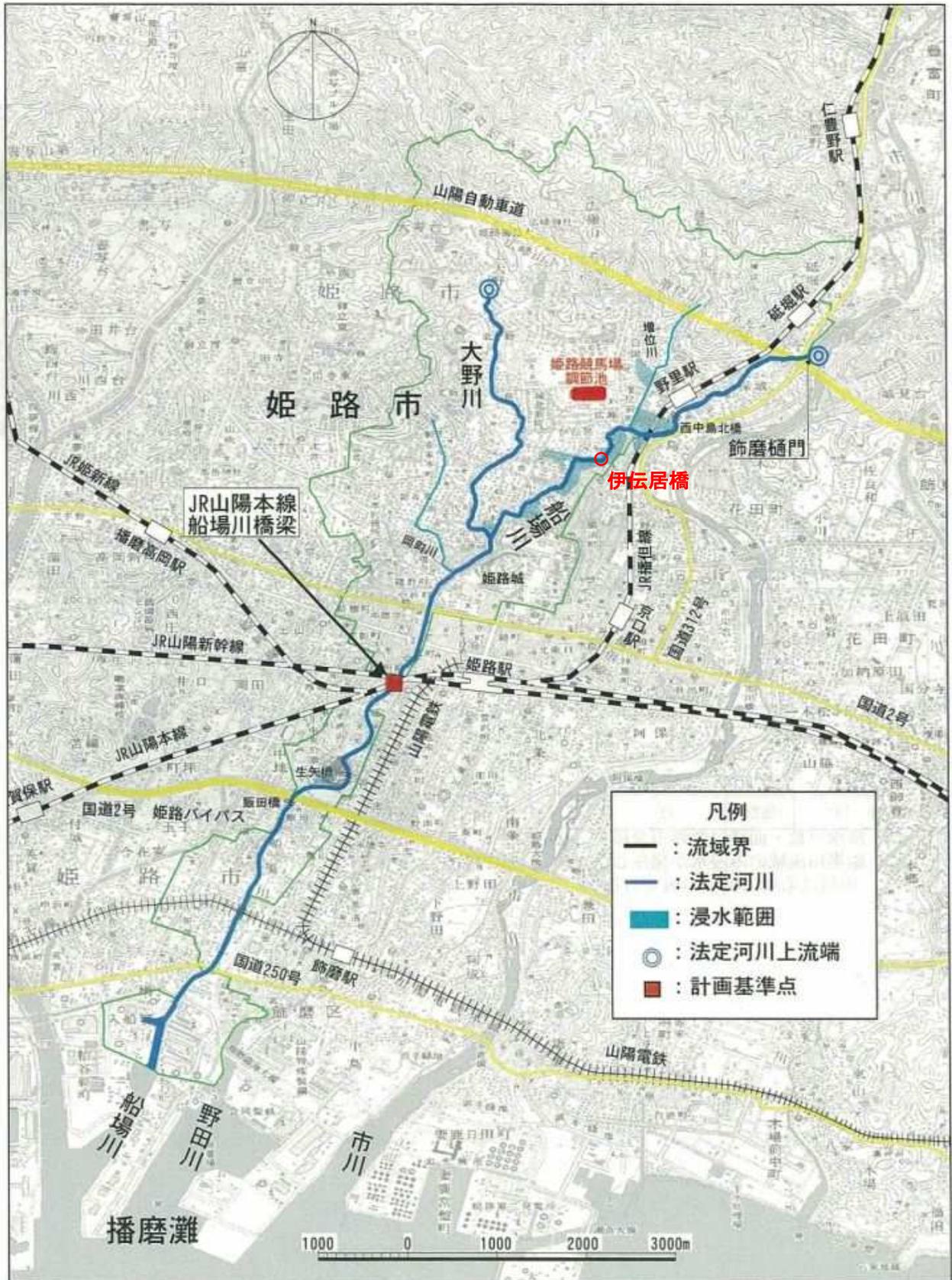
伊伝居橋から下流を望む



左岸下流から伊伝居橋を望む

出典：自治会提供資料

図 1.15 屈曲部からの越水状況（平成 24 年）



出典：船場川水系河川整備計画

図 1.16 平成 16 年 10 月台風 23 号による実績浸水区域図

【夢前川水系】

夢前川流域で大きな被害を起こした洪水は昭和 40 年洪水、昭和 51 年洪水である。

夢前川の流域は、昭和 40 年 9 月の台風 24 号では浸水面積 1,823ha、浸水家屋 6,346 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、浸水面積 720ha、浸水家屋 6,575 戸の被害が発生した。また、平成に入ってから、平成 2 年 9 月の台風 19 号による出水で、浸水面積 121ha、浸水家屋 2,454 戸の被害が発生したほか、平成 23 年にも浸水家屋 288 戸におよぶ被害が発生した。

更新

表 1.13 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		農地	宅地 その他	計	床下 浸水	床上 浸水	計	
S39. 8. 24	台風 14 号	20		20	53	2	55	
S40. 9. 14~15	台風 24 号	1,503	320	1,823	5114	1,232	6,346	
S51. 9. 7~14	台風 17 号	312	408	720	5,734	841	6,575	
S55. 8. 28	豪雨	0	8	8	301	12	313	
S62. 10. 15~18	台風 19 号	0	4	4	173	13	186	
H2. 9. 11~20	台風 19 号	73	48.1	121.1	2,355	99	2,454	
H4. 8. 17~20	台風 11 号	4	0.6	4.6	30	0	30	
H9. 7. 25~29	台風 9 号	0	178	178	37	2	39	
H16. 10. 18~22	台風 23 号	0	66	66	34	2	36	
H23. 8. 30~9. 7	台風 12 号及 び豪雨	0	2.8	2.8	205	83	288	
H24. 6. 14~28	梅雨前線豪雨 及び台風 4 号	1.3	1.6	2.9	102	8	110	

出典：国土交通省水害統計調査

【汐入川水系】

汐入川流域では、平成 29 年 9 月の台風 18 号において宅地に浸水被害が発生した。

追加

表 1.14 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		農地	宅地 その他	計	床下 浸水	床上 浸水	計	
H29. 9. 14~18	台風 18 号 及び豪雨	0	0.03	0.03	0	1	1	原因が内水溢水、 破堤に限定

出典：国土交通省水害統計調査

【大津茂川水系】

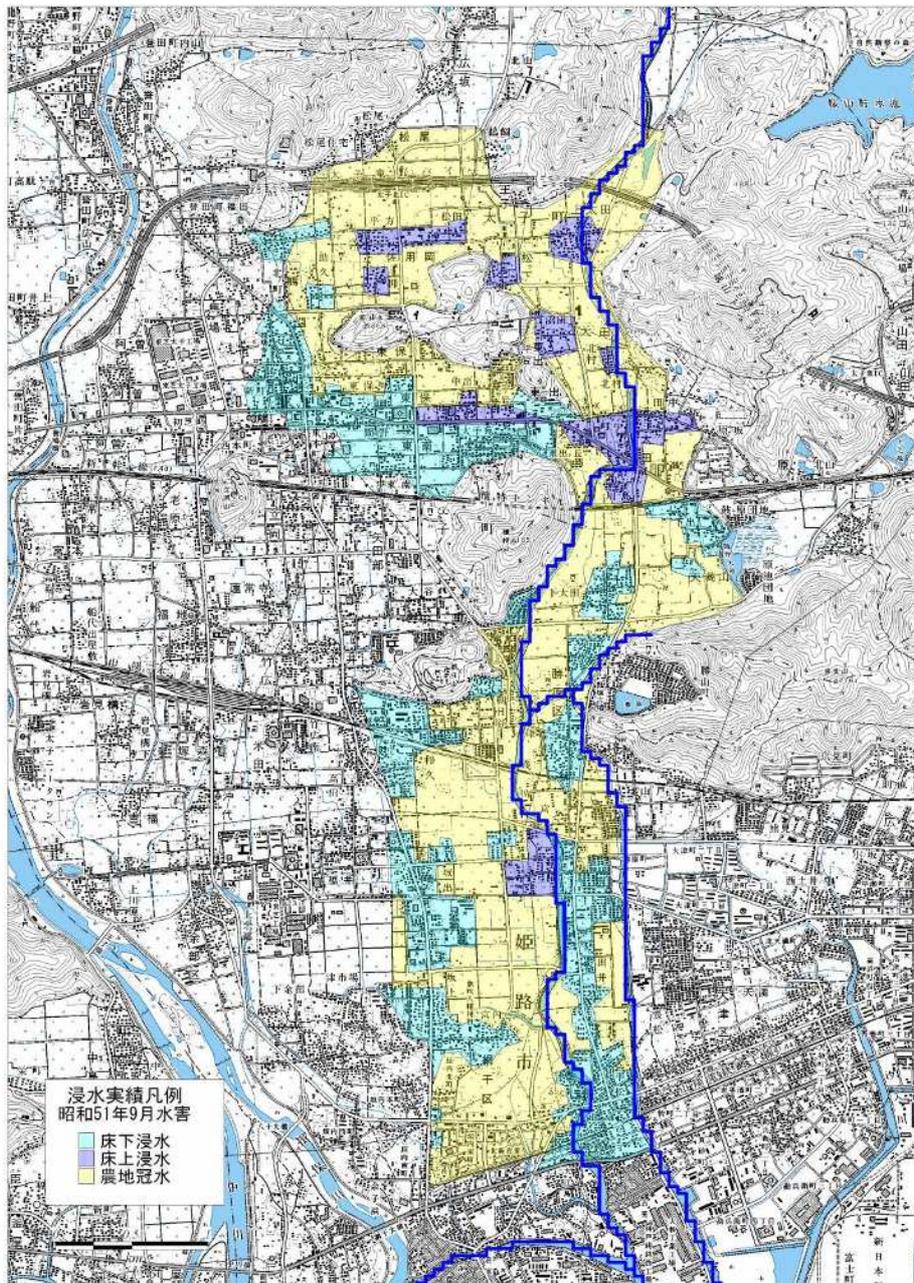
大津茂川水系で被害の大きかった洪水被害は、昭和 49 年 7 月の台風 8 号、昭和 51 年 9 月の台風 17 号の 2 洪水である。

上記洪水を契機に進められてきた河川改修の効果により、最近では目立った被害はほとんど見られない。

表 1.15 主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		田	畑		床上浸水	床下浸水	計	
S46. 8. 30	台風 23 号	170	141	10	100	559	659	
S47. 9. 6	熱帯低気圧	379	305	15	450	1, 513	1, 963	
S49. 7. 7	台風 8 号	250	227	6	271	2, 030	2, 301	
S51. 9. 10	台風 17 号	350	147	8	1, 055	1, 565	2, 620	

出典：大津茂川激甚災害対策特別緊急事業全体計画調書



※当時の宮田地点、丁地点は不明であるため、宮田橋と丁大橋を示した。

出典：大津茂川水系大津茂川浸水想定区域図作成業務報告書（平成17年度）

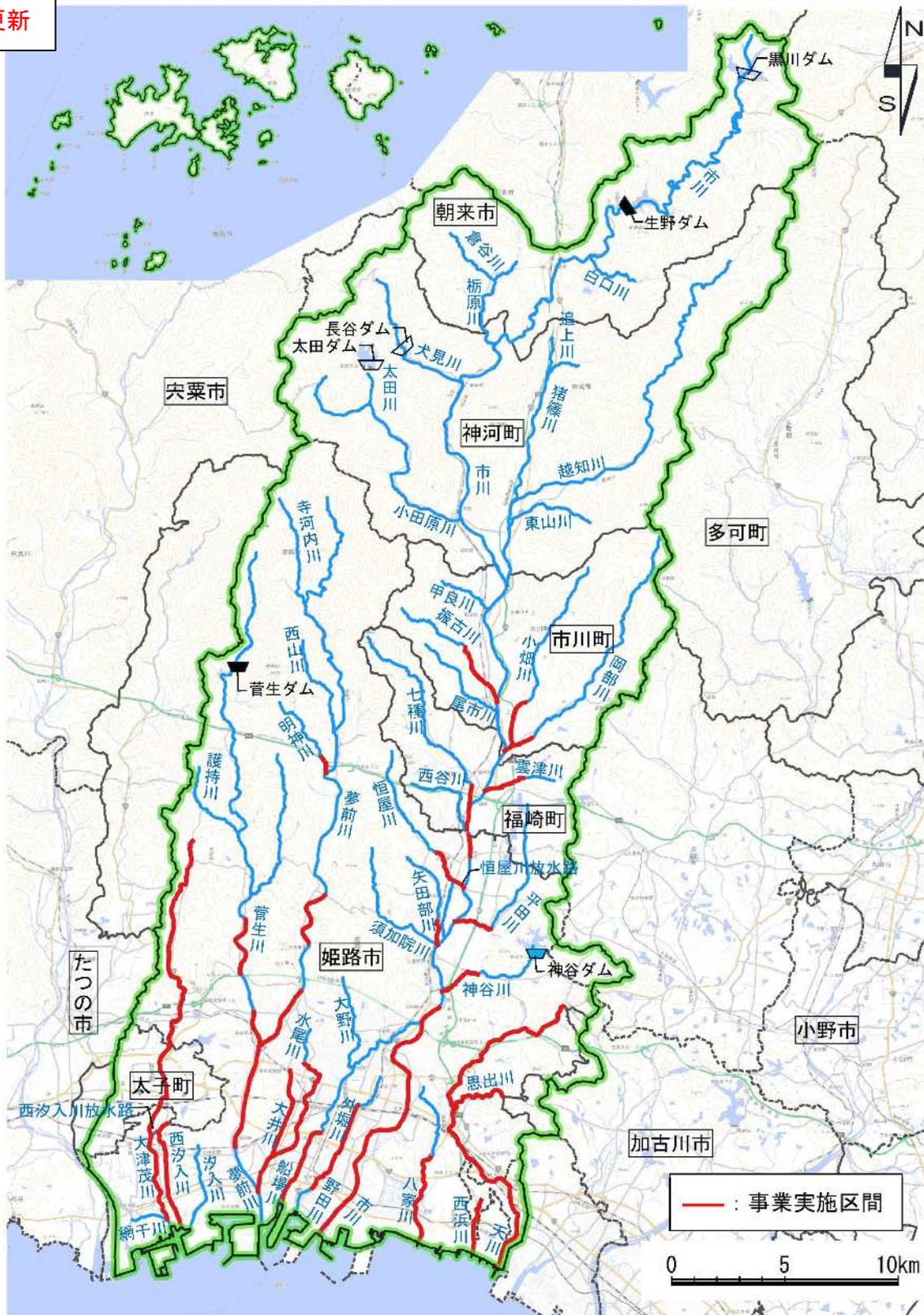
図 1.17 昭和 51 年 9 月洪水による実績浸水区域図

1-3. 河川・下水道の整備状況

(1) 流域の河川

① 河川の整備状況

更新



出典：姫路土木事務所資料（電子地形図 25000(国土地理院)に加筆)

図 1.18 既往の治水事業

【天川水系】

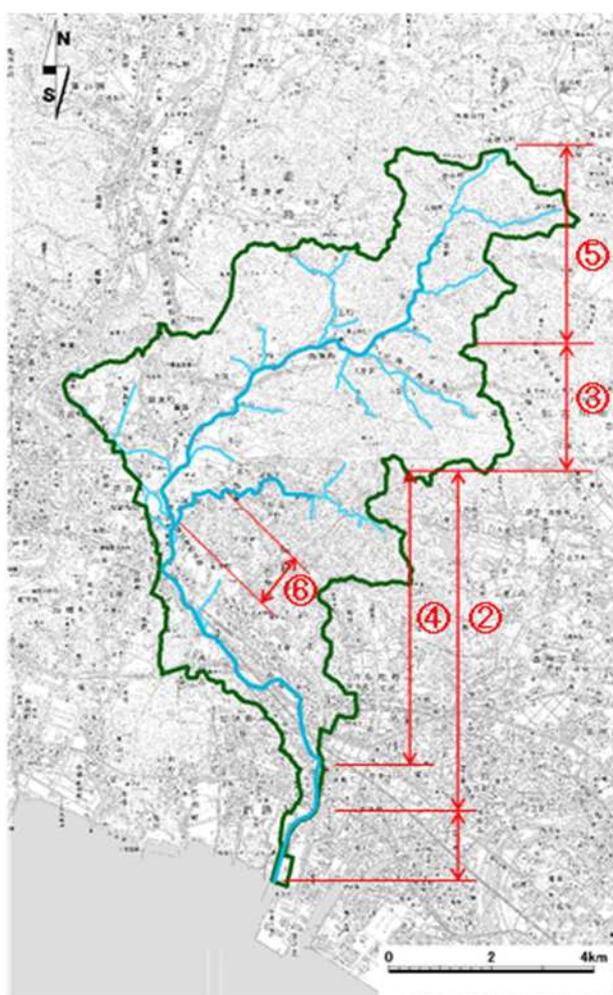
天川では、昭和 43 年度より、高潮対策事業や小規模河川改良事業、河川激甚災害対策特別緊急事業、災害復旧助成事業、災害復旧関連事業を実施した。

思出川では、昭和 51 年度より災害復旧関連事業を実施した。

表 1.16 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
天川	①播磨高潮対策事業	S43～完	区間：河口～住吉橋
	②河川激甚災害対策特別緊急整備事業	S51～完	区間：住吉橋～上田原川合流点
	③災害復旧助成事業	S51～完	区間：上田原川合流点～新川橋
	④小規模河川改良事業	S56～完	区間：市境地先～上田原川合流点
	⑤災害復旧関連事業	S62～完	区間：新川橋～市境(加西市)地先
思出川	⑥災害復旧関連事業	S51～完	区間：天川合流点～思出橋

出典：姫路土木事務所資料



出典：姫路土木事務所資料

図 1.19 天川水系 治水事業位置図

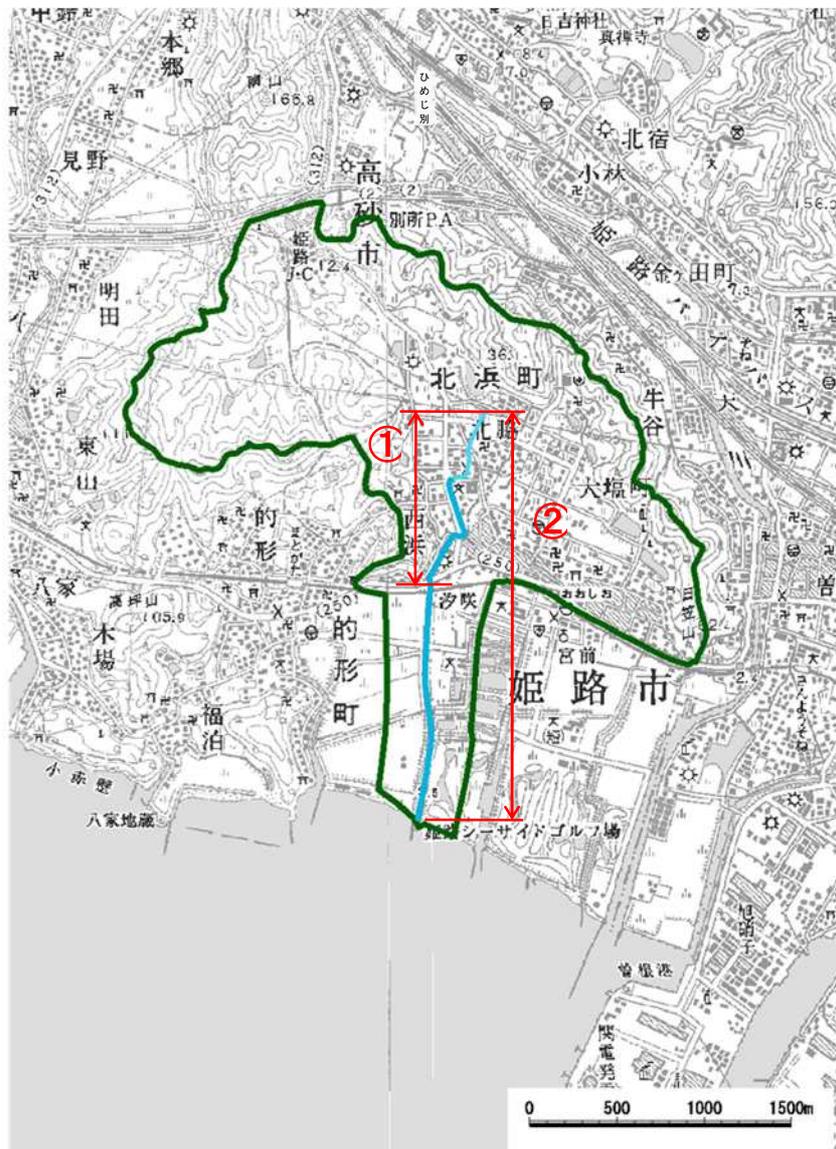
【西浜川水系】

西浜川では、昭和 51 年の洪水で、流域の大部分が浸水したことから、昭和 51 年度から昭和 55 年度にかけて河川激甚災害対策緊急整備事業を実施した。また、昭和 52 年度より播磨高潮対策事業を実施した。

表 1.17 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
西浜川	①河川激甚災害対策特別緊急整備事業	S51～S55	区間：山陽電鉄～北浜橋 延長：L=695m 内容：堤防、護岸、掘削
	②播磨高潮対策事業	S52～H15	区間：河口～北浜橋 延長：L=2,180m 内容：防潮水門、排水機場、護岸、掘削

出典：西浜川水系河川整備基本方針



出典：姫路土木事務所資料

図 1.20 西浜川水系 治水事業位置図

【八家川水系】

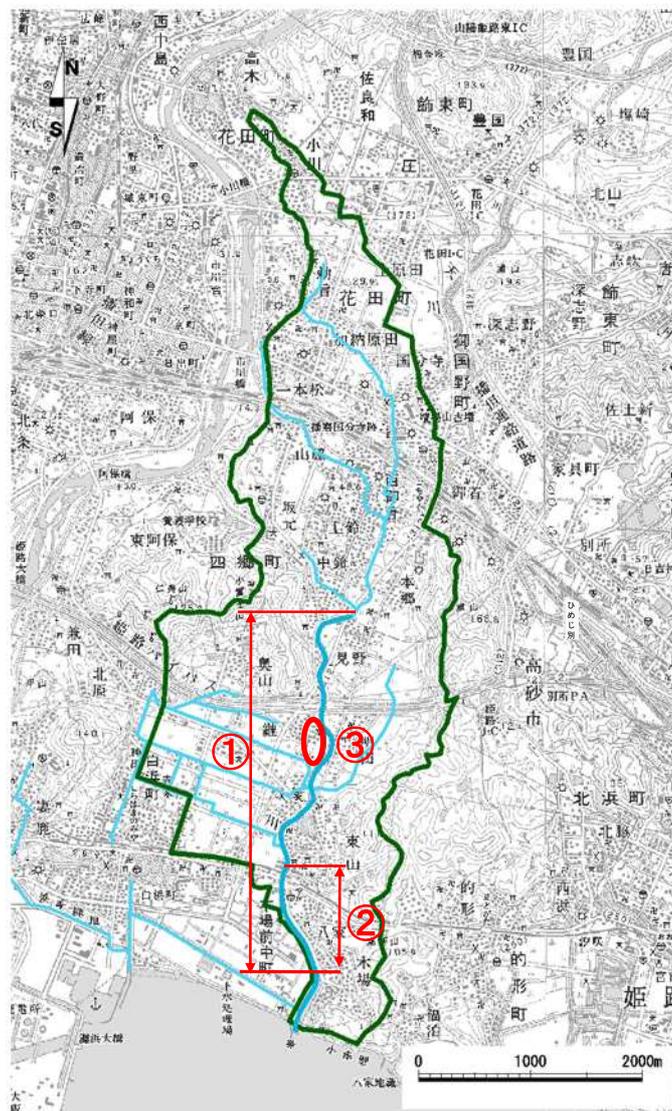
八家川では、昭和 31 年度から昭和 42 年にかけて局部改良事業を実施した。また、昭和 43 年度より播磨高潮対策事業を実施し、平成 29 年度に完成、中流域において、洪水調節施設の整備を進めている。

更新

表 1.18 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
八家川	①局部改良事業	S31～S42	区間：河口付近～法河川上流端 延長：L=3,700m 内容：築堤、掘削、護岸
	②播磨高潮対策事業	S43～H29	区間：河口付近から 910m の区間 延長：L=910m 内容：防潮堤、三ツ橋改築
	③調節池等整備事業	H29～	洪水調節池（姫路 BP 南付近）

出典：八家川水系河川整備計画



出典：姫路土木事務所資料

図 1.21 八家川水系 治水事業位置図

【市川水系】

市川では、昭和 25 年度より都市基幹河川改修事業（旧中小河川改修事業）により姫路市飾磨区妻鹿地先から姫路市砥堀地先の区間を対象として、築堤、掘削等の一時改修を実施している。

その後、昭和 56 年度から平成 9 年度にかけて、河川局部改良事業を実施した。また、昭和 41 年度より生野ダムの建設に着手して昭和 47 年度に完成した。

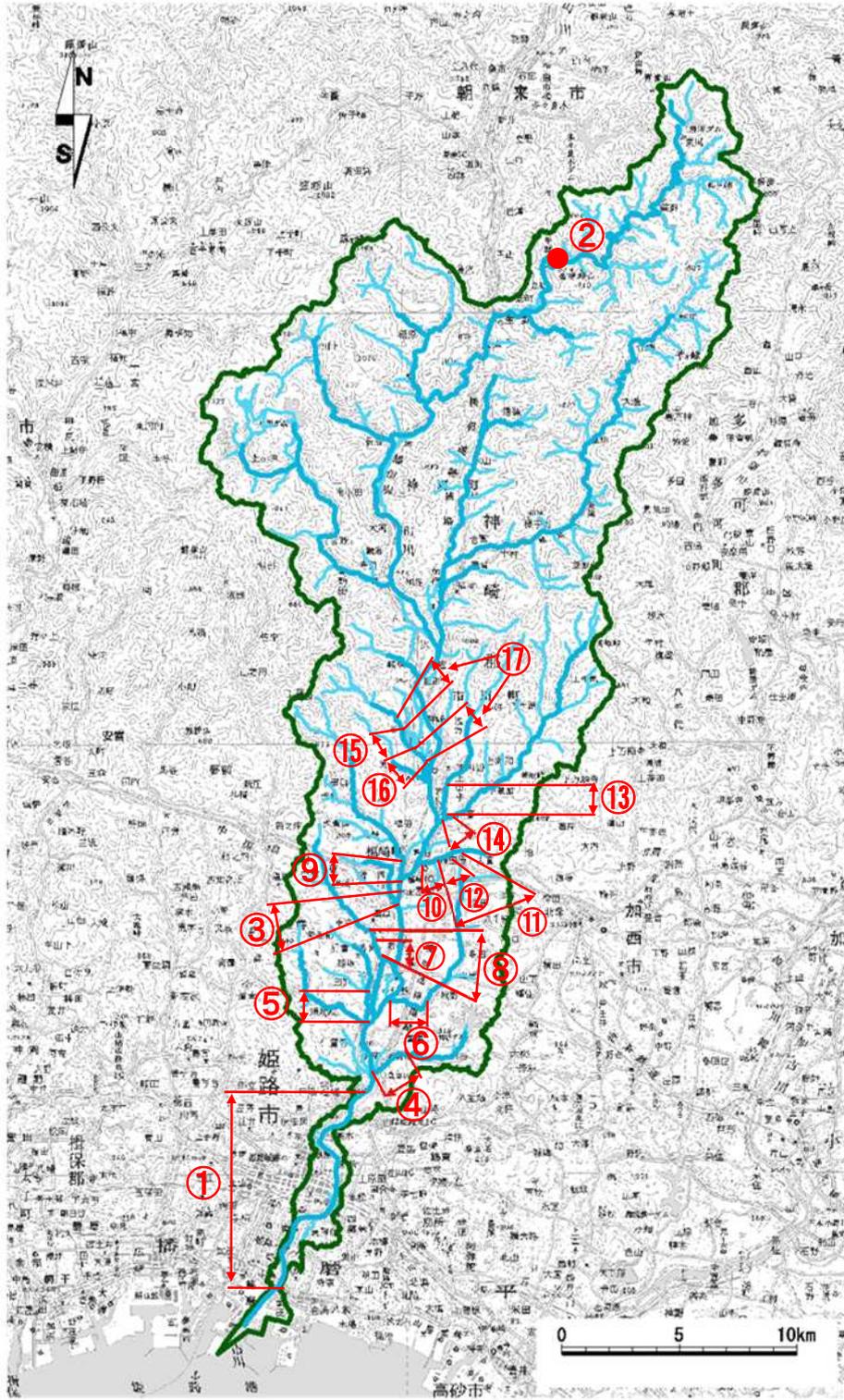
一次改修に引き続き同区間において治水安全度を向上させるため改修に着手した。平成 13 年度には河積阻害となっていた旧大庄屋井堰（固定堰）を撤去し、現在の潮止堰（ゴム堰）を完成させ、平成 29 年度には「阿成工区」「JR 橋梁工区」が完成した。引き続き、「砥堀工区」において、改修を進めている。振古川については令和 5 年度に改修事業を完了した。

更新

表 1.19 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
市川	①都市基幹河川改修事業 (中小河川改修事業)	S25~	区間：妻鹿地先～砥堀地先 延長：L=11,020m 内容：築堤、掘削
	②生野総合開発事業（生野ダム）	S41~S47	治水容量：3.2 百万m ³ 利水容量：14.6 百万m ³
	③河川局部改良事業	S56~H9	延長：L=593m
神谷川	④河川災害復旧助成事業	H2~H5	延長：L=1,760m
矢田部川	⑤河川局部改良事業	S52~S63	延長：右岸 L=755m 左岸 L=770m
平田川	⑥河川局部改良事業	S49~H10	延長：L=1,530m
恒屋川	⑦河川激甚災害対策特別緊急事業	H2~H6	延長：L=1,710m
	⑧小規模河川改良事業	H3~H9	延長：L=2,050m
七種川	⑨小規模河川改良事業	S41~S55	延長：右岸 L=1,035m 左岸 L=900m
雲津川	⑩河川局部改良事業	S45~S54	延長：L=380m
	⑪小規模河川改良事業	S58~H9	延長：L=480m
	⑫小規模河川改良事業	S62~H10	延長：L=910m
小畑川	⑬小規模河川改良事業	S47~H3	延長：右岸 L=2,003m 左岸 L=970m
	⑭小規模河川改良事業	H1~完了	延長：右岸 L=1,770m 左岸 L=1110m
振古川	⑮河川局部改良事業	S42~S48	延長：L=600m
	⑯河川局部改良事業	S48~S59	延長：L=400m
	⑰総合流域防災事業	H19~完了	延長：下流 L=900m 上流 L=1,100m

出典：市川水系河川整備基本方針



出典：姫路土木事務所資料

图 1.22 市川水系 治水事業位置図

【野田川水系】

野田川では、昭和40年9月（台風23号）の高潮被害を契機に、昭和48年度より播磨高潮対策事業として、三ノ切橋下流の本格的な河川改修を進めてきた。平成12年度に野田川排水機場が完成し、ポンプは計画3台のうち2台が設置されている。

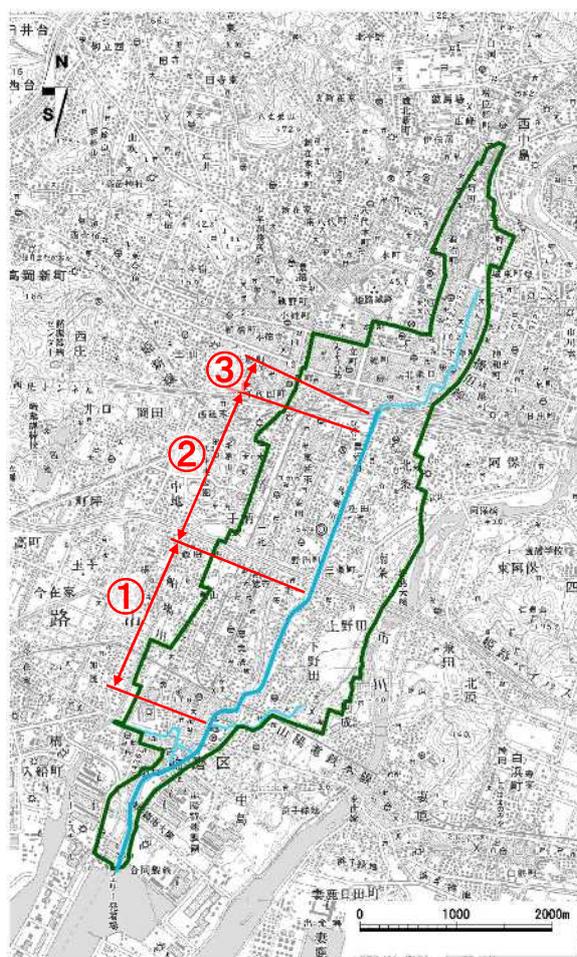
三ノ切橋上流の外堀川でも、同時期に都市小河川改修事業で改修を進めてきたが、昭和51年9月（台風17号）平成2年9月（台風19号）等の洪水では大きな被害を受けた。また、平成9年度から平成17年度にかけて、三国橋上流を対象に都市基盤河川改修事業を実施した。

飾磨防潮水門下流は、おおむね整備が完了している。

表 1.20 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
野田川	①播磨高潮対策事業	S48～	区間：三ノ切橋下流
外堀川	②都市小河川改修事業	S47～S62	区間：三ノ切橋上流
	③都市基盤河川改修事業	H9～H17	区間：三国橋上流

出典：姫路土木事務所資料



出典：姫路土木事務所資料

図 1.23 野田川水系 治水事業位置図

【船場川水系】

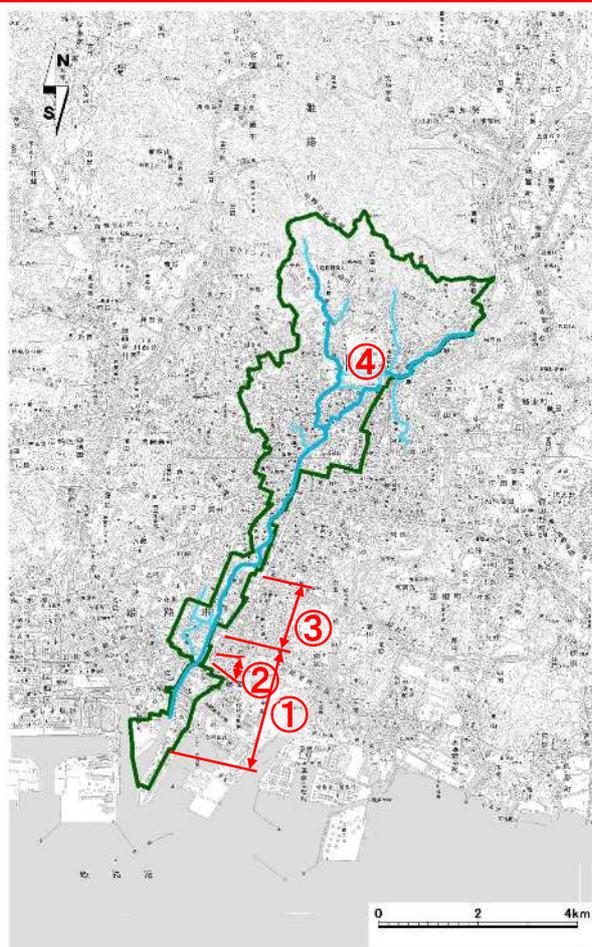
船場川では、昭和 43 年度から平成 4 年度にかけて、河口から構南橋の約 2.6 km の区間で高潮対策事業を実施した。このうち、山陽電鉄橋梁を含む 0.4 km の区間では、昭和 51 年度から昭和 56 年度にかけて激甚災害対策特別緊急事態を実施した。また昭和 58 年度より構南橋から生矢橋の約 1.5 km の区間では広域一般河川改修事業を実施している。近年ではあわせて上流域において、洪水調節施設の整備を進めた。

更新

表 1.21 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
船場川	①高潮対策事業	S43～H4	区間：河口から構南橋 延長：L=2,570m
	②激甚災害対策特別緊急事業	S51～S56	区間：山陽電鉄橋梁 延長：L=400m
	③都市一般河川改修事業	S58～	区間：構南橋から生矢橋 延長：L=1,535m
	④調節池等の整備事業	H21～H31	洪水調節施設（姫路競馬場）

出典：船場川水系河川整備計画



出典：姫路土木事務所資料

図 1.24 船場川水系 治水事業位置図

【夢前川水系】

夢前川では、京見橋から書写橋までの約 8.8km の区間で、昭和 35 年度から昭和 61 年度にわたり夢前川整備事業を実施した。平成元年度からは、夢前町置本地先から宮置橋までの約 2.2km の区間で総合流域防災事業を実施している。

菅生川では、夢前川合流点から宮前橋までの約 1.2km の区間で、昭和 35 年度から昭和 61 年度にわたり夢前川整備事業を実施した。また、六角橋から新在家橋の約 3.0km 区間で、平成 2 年から平成 5 年にわたり、災害復旧助成事業を実施した。

令和 2 年度には河道掘削を行った。

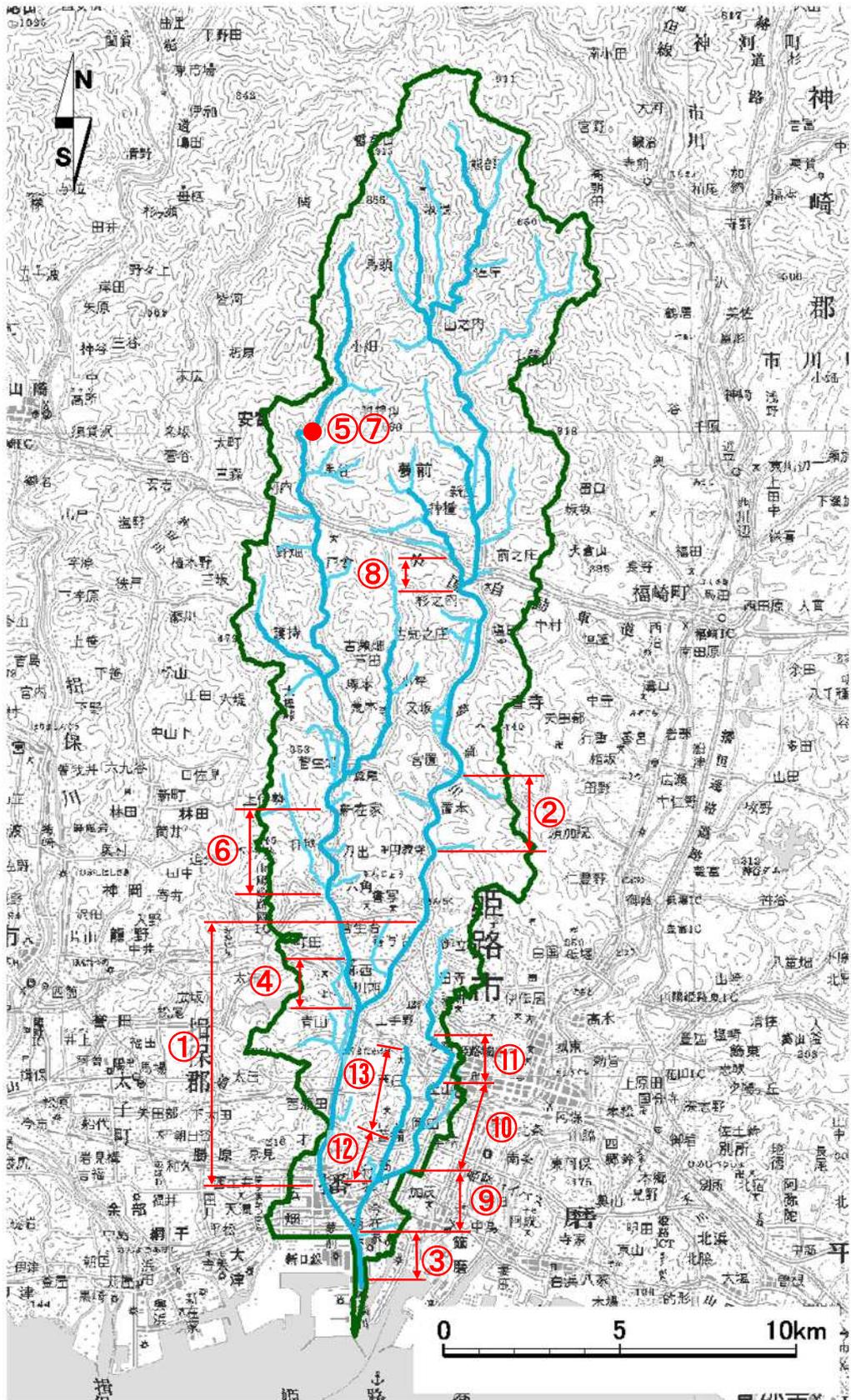
水尾川では、夢前川合流点から玉手橋までの 3.2km の区間で、昭和 43 年度から播磨高潮対策事業を実施している。昭和 57 年度から平成 9 年にわたり、上流の JR 姫新線大井川橋梁上流までの 2.7km の区間で、小規模河川改修事業を実施した。さらに上流区間については、昭和 55 年度から平成 21 年度にわたり、姫路市による都市基盤河川改修事業を実施した。また、夢前川合流点から旧水門跡の区間で河床掘削、護岸の整備を実施しており、辻井川合流点から法河川上流端の区間で捷水路の整備を実施している。

大井川では、水尾川合流点から山陽本線までの 1.4km の区間で、昭和 43 年度から播磨高潮対策事業を実施している。さらに上流区間については、昭和 47 年度より、姫路市による都市基盤河川改修事業を実施し、現在も継続中である。

表 1.22 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
夢前川	①夢前川整備事業	S35～S61	区間：京見橋から書写橋 延長：L=8,800m
	②総合流域防災事業	H1～	区間：置本地先から宮置橋 延長：L=2,220m
	③播磨高潮対策事業	H3～H4	延長：L=1,458m
菅生川	④夢前川整備事業	S35～S61	区間：夢前川合流点から宮前橋 延長：L=1,080m
	⑤菅生治水ダム建設事業	S44～S53	
	⑥河川災害復旧助成事業	H2～H5	区間：六角橋から新在家橋 延長：L=2,940m
	⑦菅生ダム堰堤改良事業	H19～H22	
明神川	⑧河川局部改良事業	S44～H12	延長：L=960m
水尾川	⑨播磨高潮対策事業	S43～	区間：水尾川合流点から玉手橋 延長：L=3,160m
	⑩都市基盤河川改修事業	S55～H21	延長：L=1,234m
	⑪小規模河川改良事業	S57～H9	区間：JR 姫新線大井川橋梁上流まで 延長：L=2,680m
大井川	⑫播磨高潮対策事業	S43～	区間：水尾川合流点から山陽本線 延長：L=1,390m
	⑬都市基盤河川改修事業	S47～	延長：L=2,656m

出典：夢前川水系河川整備計画



出典：姫路土木事務所資料

図 1.25 夢前川水系 治水事業位置図

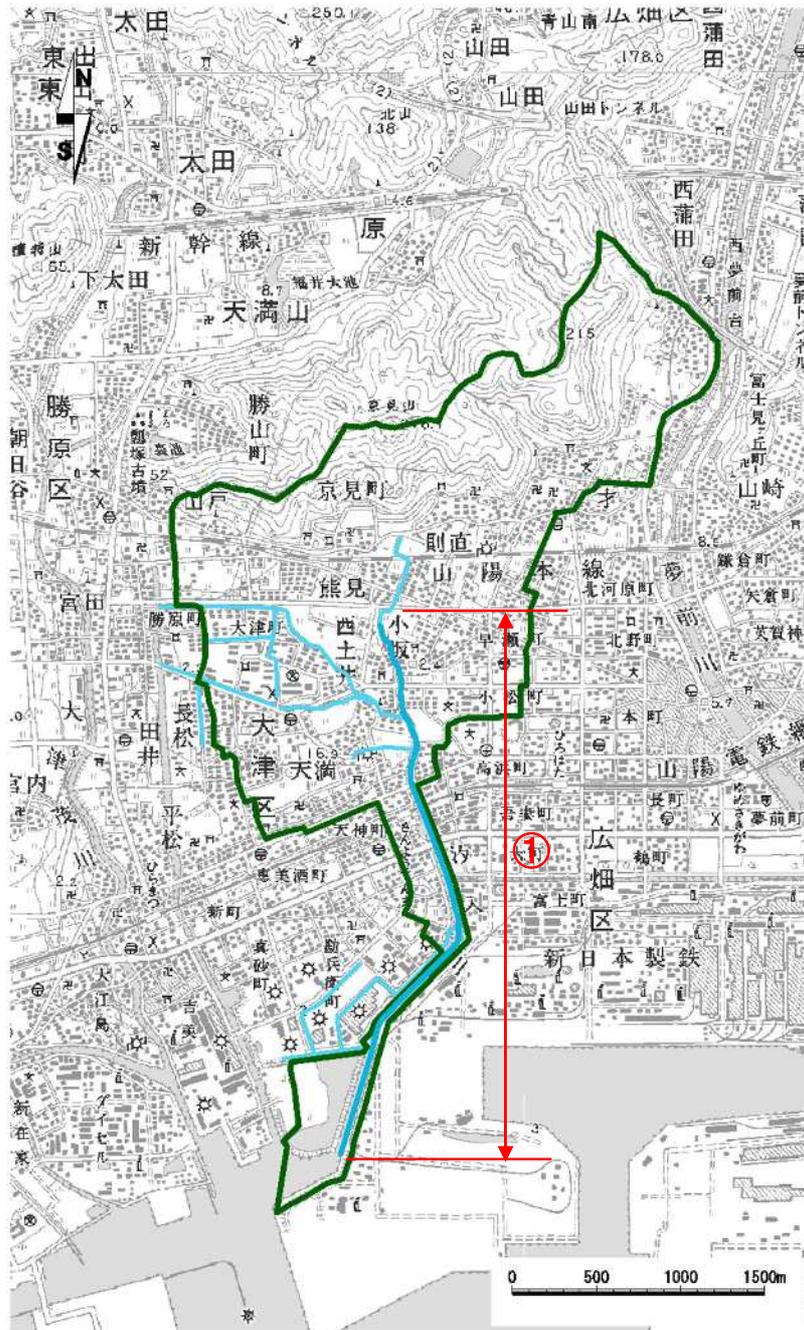
【汐入川水系】

汐入川では、昭和 44 年度より播磨高潮対策事業を実施した。

表 1.23 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
汐入川	①播磨高潮対策事業	S44～完	区間：河口から大津区新町 2 丁目 延長：L=3,350m 内容：築堤、掘削、護岸、排水機場

出典：姫路土木事務所資料



出典：姫路土木事務所資料

図 1.26 汐入川水系 治水事業位置図

【大津茂川水系】

大津茂川では、河口から向西橋までの約 2.3km の区間で、昭和 40 年度から昭和 60 年度にわたり、播磨高潮対策事業を実施した。また、向西橋から上太田橋までの約 4.7km の区間で、昭和 49 年度から昭和 55 年度にわたり、河川激甚災害対策特別緊急事業を、昭和 55 年度から昭和 58 年度にわたり、河川局部改良事業を実施した。さらに、上太田橋から長林橋までの約 10.5km の区間で、昭和 49 年度から昭和 52 年度にわたり災害復旧助成事業を実施した。

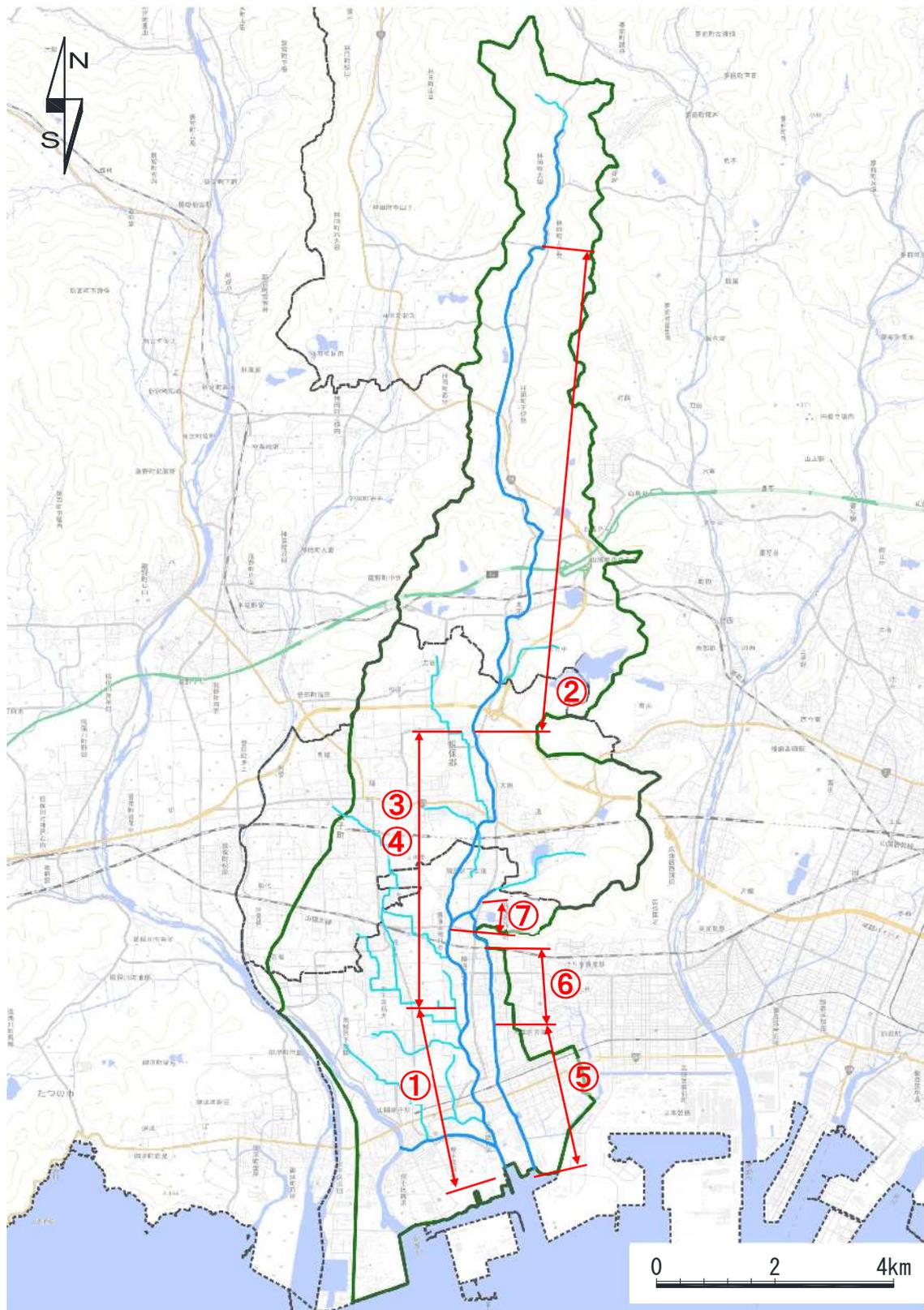
西汐入川では、昭和 40 年度から昭和 60 年度にわたり、河口から宮長橋までの約 2.9km の区間で、播磨高潮対策事業を実施した。また、昭和 55 年度から平成 21 年度にわたり、宮長橋から下太田川合流点までの約 1.4km の区間で、姫路市による都市小河川改修事業を実施した。

西汐入川放水路では、昭和 49 年度から昭和 55 年度にわたり、河口から法定河川上流端までの約 0.8km の区間で、河川激甚災害対策特別緊急事業を実施した。

表 1.24 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
大津茂川	①播磨高潮対策事業	S40～S60	区間：河口から向西橋 延長：L=2,280m
	②災害復旧助成事業	S49～S52	区間：上太田橋から長林橋 延長：L=10,500m
	③激甚災害対策特別緊急事業	S49～S55	区間：向西橋から上太田橋 延長：L=4,680m
	④河川局部改良事業	S55～S58	区間：向西橋から上太田橋 延長：L=4,680m
西汐入川	⑤播磨高潮対策事業	S40～S60	区間：河口から宮長橋 延長：L=2,935m
	⑥都市小河川改修事業	S55～H21	区間：宮長橋から下太田川合流点 延長：L=1,360m
西汐入川放水路	⑦激甚災害対策特別緊急事業	S49～S55	区間：河口から法定河川上流端 延長：L=780m

出典：大津茂川水系河川整備基本方針



出典：姫路土木事務所資料（電子地形図 25000 (国土地理院) に加筆)

図 1.27 大津茂川水系 治水事業位置図

②洪水調節施設の整備状況

計画地域には、洪水調節施設として、生野ダム（市川）、菅生ダム（夢前川）、船場川調節施設、辻井川(準用河川)雨水貯留施設、**八家川洪水調節池（整備中）**がある。

【生野ダム】

生野ダムは、昭和 30 年以來、姫路市を中心とする急激な人口増加と播磨工業整備特別地域の指定に伴う都市用水の需要に対応するとともに、市川沿いの地域を洪水から守ることを目的とした多目的ダムとして昭和 47 年度に完成した。

位置	朝来市生野町		
型式	重力式コンクリートダム		
事業期間	昭和 38 年～昭和 47 年		
堤高	56.5m	湛水面積	90ha
堤頂長	220m	総貯水容量	18000 千 m^3
堤体積	150 千 m^2	有効貯水容量	17000 千 m^3
流域面積	49 km^2	着手/竣工	昭和 38 年/ 昭和 47 年

出典：ダム便覧



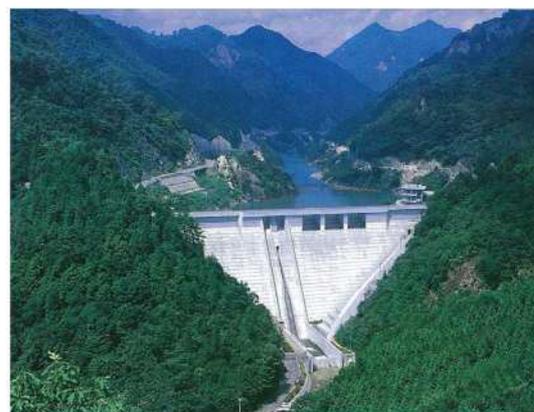
出典：兵庫県HP

【菅生ダム】

菅生ダムは、播磨工業地帯の背後地として急速に宅地化が進んだ菅生川沿川の洪水対策と菅生川の既得水利に対する水の補給等を目的に治水ダムとして、昭和 53 年度に完成した。また、ダム管理の省力化と洪水調節の確実性を向上させるため、ゲートレス化工事を行い、平成 23 年 1 月より自然調節ダムに改良した。

位置	姫路市夢前町筋野		
型式	重力式コンクリートダム		
事業期間	昭和 45 年～昭和 53 年		
堤高	55.7m	湛水面積	13ha
堤頂長	157m	総貯水容量	1950 千 m^3
堤体積	99 千 m^2	有効貯水容量	1700 千 m^3
流域面積	8.7 km^2	着手/竣工 ※堰堤改良事業	昭和 45 年/ 昭和 53 年 ※平成 17 年/ 平成 22 年

出典：ダム便覧



出典：姫路土木事務所資料

【船場川調節施設】

船場川調節施設は、平成 16 年 10 月の台風 23 号により船場川が溢水し被害が発生したため、河川氾濫の防止を目的として計画され、平成 31 年 3 月に完成した。これにより洪水時には、河道沿いの横越流堰（分水堰）から河川水を分水し、導水路を介して競馬場内の調節池にて一時的に貯留することにより、分水地点下流域の洪水時流量を軽減することが可能となった。



出典：船場川調節施設等整備事業パンフレット

調節池	貯留量	120,000 ^m ³
	調節池水深	7.3m
導水路	導水路径	3,500mm
分水堰	分水量	16 ^m ³ /s
	分水方式	横越流方式

【辻井川雨水貯留施設】

準用河川の辻井川における辻井川雨水貯留施設は、宅地化の進行に伴って増加する浸水被害の軽減を目的として建設された。平成 15 年 4 月に供用を開始し、平成 23 年度から貯留量を増強する第 2 期工事に着手し、平成 25 年度に完成した。



出典：姫路土木事務所資料

貯留容量	V=27,400 ^m ³ (第 1 期工事 V=13,700 ^m ³ 第 2 期工事 V=13,700 ^m ³)
寸法	平面 86.25m × 77.37m × 内空高 5.00m (第 1 期工事 43.125m × 77.37m × 5.00m 第 2 期工事 43.125m × 77.37m × 5.00m)

(2) 流域の下水道

①下水道（雨水）の整備状況

計画地域では、福崎町、姫路市、高砂市、太子町の公共下水道の整備を計画しており、浸水被害の軽減に向け整備を実施している。

更新

表 1.25 下水道（雨水）事業の整備率

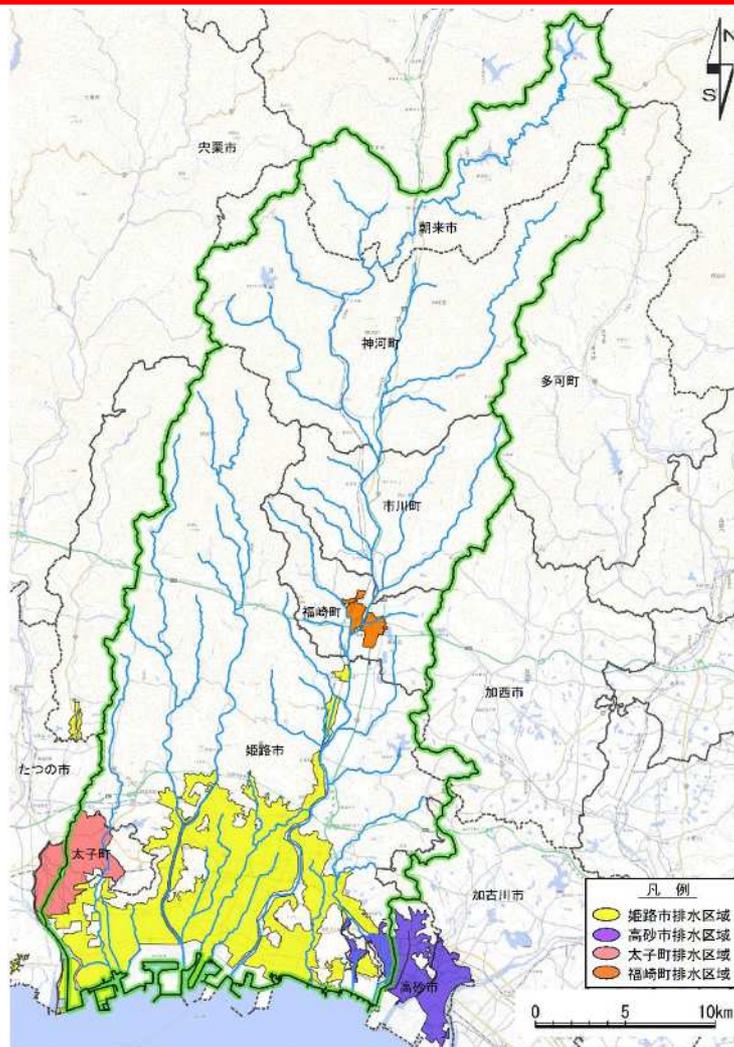
市町	下水道の種別	雨水排水区域面積 (ha)	雨水整備済み面積 (ha)	整備率
福崎町※2	福崎町公共下水道	149	23	15%
姫路市※1	姫路市公共下水道	9,906.85	3,632	37%
高砂市※2	高砂市公共下水道	824	24	3%
太子町※2	太子町公共下水道	780	246	32%

※1：姫路市は、平成28年度末時点における姫路市全域での値を記載

※2：福崎町、高砂市、太子町は、平成25年現在における計画地域に係る雨水排水区域の値を記載

出典：姫路土木事務所資料

更新



出典：福崎町、姫路市、高砂市、太子町提供資料（電子地形図 25000(国土地理院)に加筆)

図 1.28 下水道（雨水）区域位置図

2. 流域対策に関する資料整理

2-1. 調整池の設置及び保全

更新

■計画地域での分布状況

現在、計画地域には、重要調整池が9施設存在する。

防災調整池施設数一覧

削除

水系名	所在市町名	施設数	
天川水系	姫路市	6	6
	高砂市	0	
	(加古川市)	0	
	(加西市)	0	
西浜川水系	姫路市	0	1
	高砂市	1	
八家川水系	姫路市	0	0
市川水系	姫路市	7	53
	福崎町	25	
	市川町	11	
	神河町	6	
	朝来市	4	
野田川水系	姫路市	0	0
船場川水系	姫路市	3	3
夢前川水系	姫路市	17	17
	太子町	0	
汐入川水系	姫路市	0	0
大津茂川水系	姫路市	2	2
	太子町	0	
	(たつの市)	0	
残流域	姫路市	1	1
合 計			83

() 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市

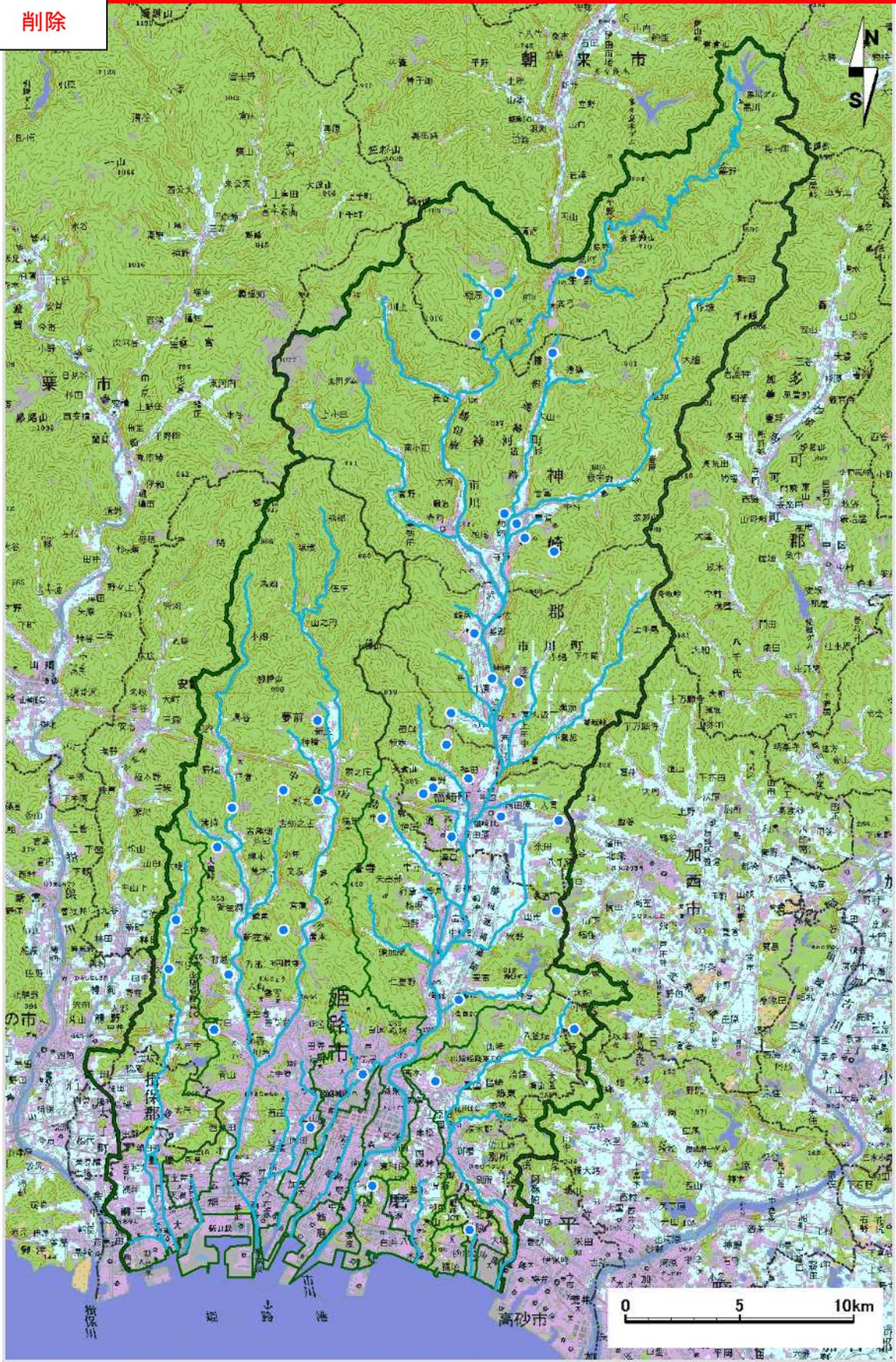
追加

表 2.1 重要調整池施設数一覧（総合治水条例 11 条指定）

市町名	重要調整池数
朝来市	0
神河町	3
市川町	0
福崎町	1
姫路市	5
高砂市	0
太子町	0
合計	9

出典：姫路土木事務所資料

削除



調整池位置図

2-2. 土地等の雨水貯留浸透機能

(1) 校庭、公園、駐車場その他広い土地を利用した施設

更新

■計画地域での分布状況

現在、計画地域には、学校 175 施設、公園 450 施設（0.1ha 以上を対象）、その他大規模施設が存在し、市街地である姫路市に多く分布している。そのうち、総合治水条例第 22 条に雨水貯留浸透施設として指定されている施設は、学校 2 施設、ため池 1 箇所存在する。

表 2.2 指定雨水貯留浸透施設数一覧（総合治水条例 22 条指定）

市町名	ため池数	学校	公園	その他
朝来市	0	0	0	0
神河町	0	0	0	0
市川町	0	0	0	0
福崎町	1	1	0	0
姫路市	0	1	0	0
高砂市	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
合計	1	2	0	0

出典：姫路土木事務所資料

表 2.3 学校・公園施設数・面積等一覧

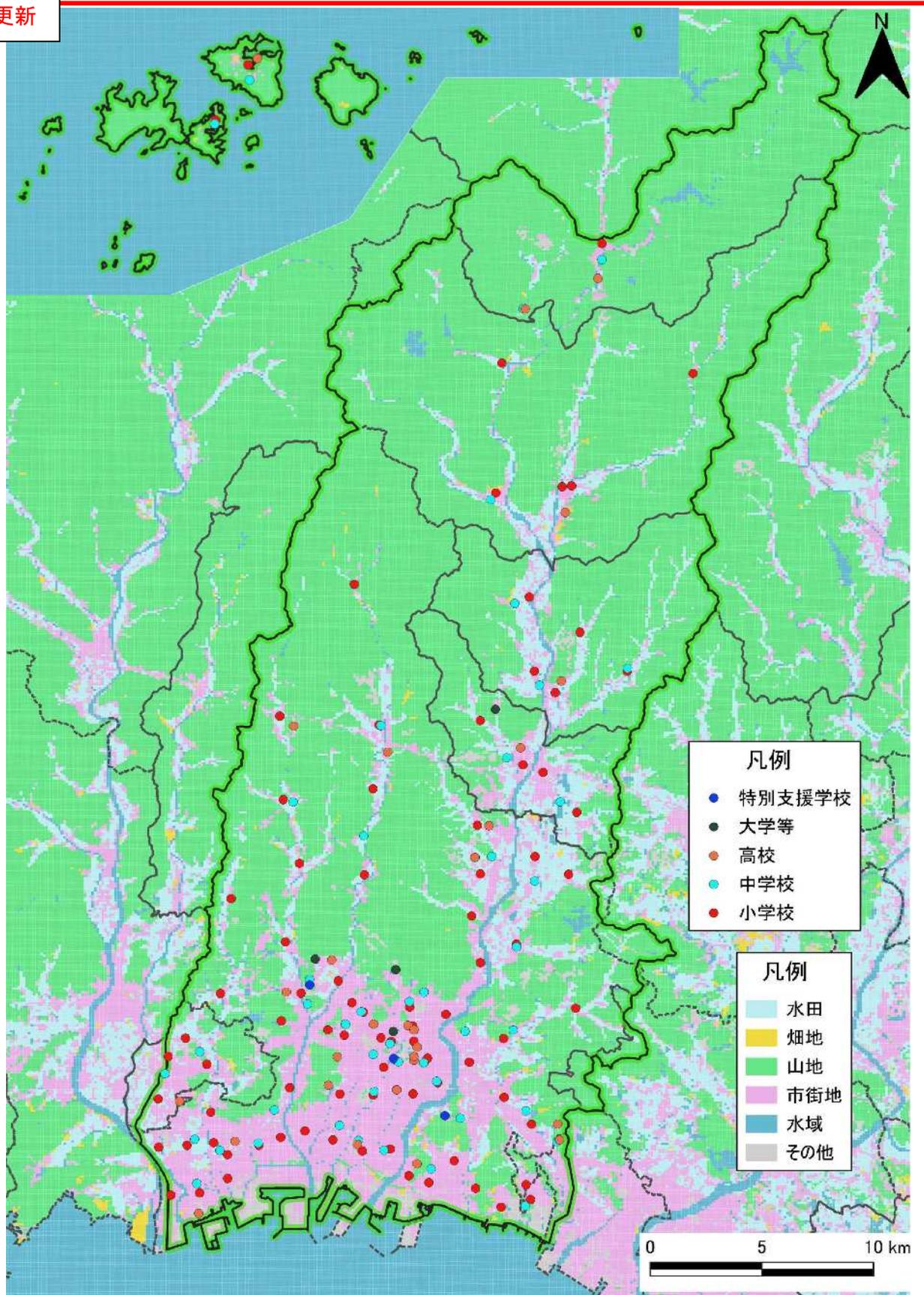
流域名	所在市町名	学校	公園
		施設数(箇所)	施設数(箇所)
天川	姫路市	8	23
	高砂市	2	4
	(加西市)	0	0
	(加古川市)	0	0
西浜川	姫路市	1	6
	高砂市	1	1
八家川	姫路市	4	26
市川	姫路市	17	80
	朝来市	5	0
	市川町	9	0
	福崎町	10	6
	神河町	7	0
	(加西市)	0	0
野田川	姫路市	10	57
船場川	姫路市	31	40
夢前川	姫路市	36	125
汐入川	姫路市	3	16
大津茂川	姫路市	12	34
	太子町	6	4
	(たつの市)	0	0
残流域	姫路市	13	28
合計	姫路市	135	435
	高砂市	3	5
	朝来市	5	0
	市川町	9	0
	福崎町	10	6
	太子町	6	4
	神河町	7	0
	(加西市)	0	0
	(加古川市)	0	0
	(たつの市)	0	0
	合計	175	450

出典：各市町ヒアリング結果

※ () 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市

※令和6年9月時点

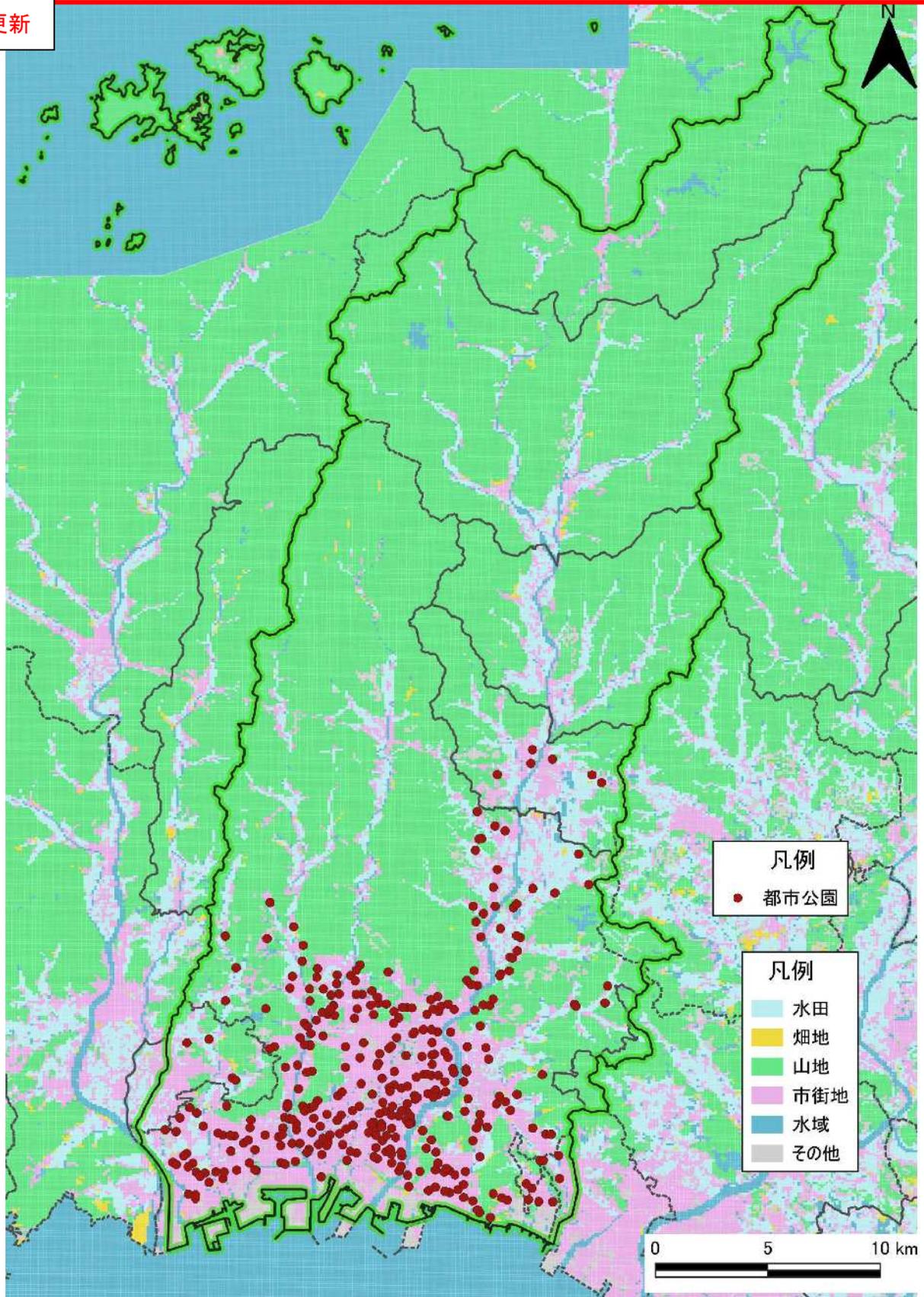
更新



出典：各市町ヒアリング結果、令和3年国土数値情報土地利用データ

図 2.1 学校位置図

更新



出典：各市町ヒアリング結果、令和3年国土数値情報土地利用データ
図 2.2 公園位置図

(2) 庁舎、病院、体育館その他大規模な建物又は工作物

更新

■計画地域での分布状況

現在、計画地域には、大規模なものとして、公立病院 2 施設、官公庁 37 施設 (0.1ha 以上を対象)、大規模店舗 76 施設、大規模公共施設 323 施設が存在し、市街地である姫路市に多く分布している。

表 2.4 病院、官公庁、大規模店舗、大規模公共施設と敷地面積一覧

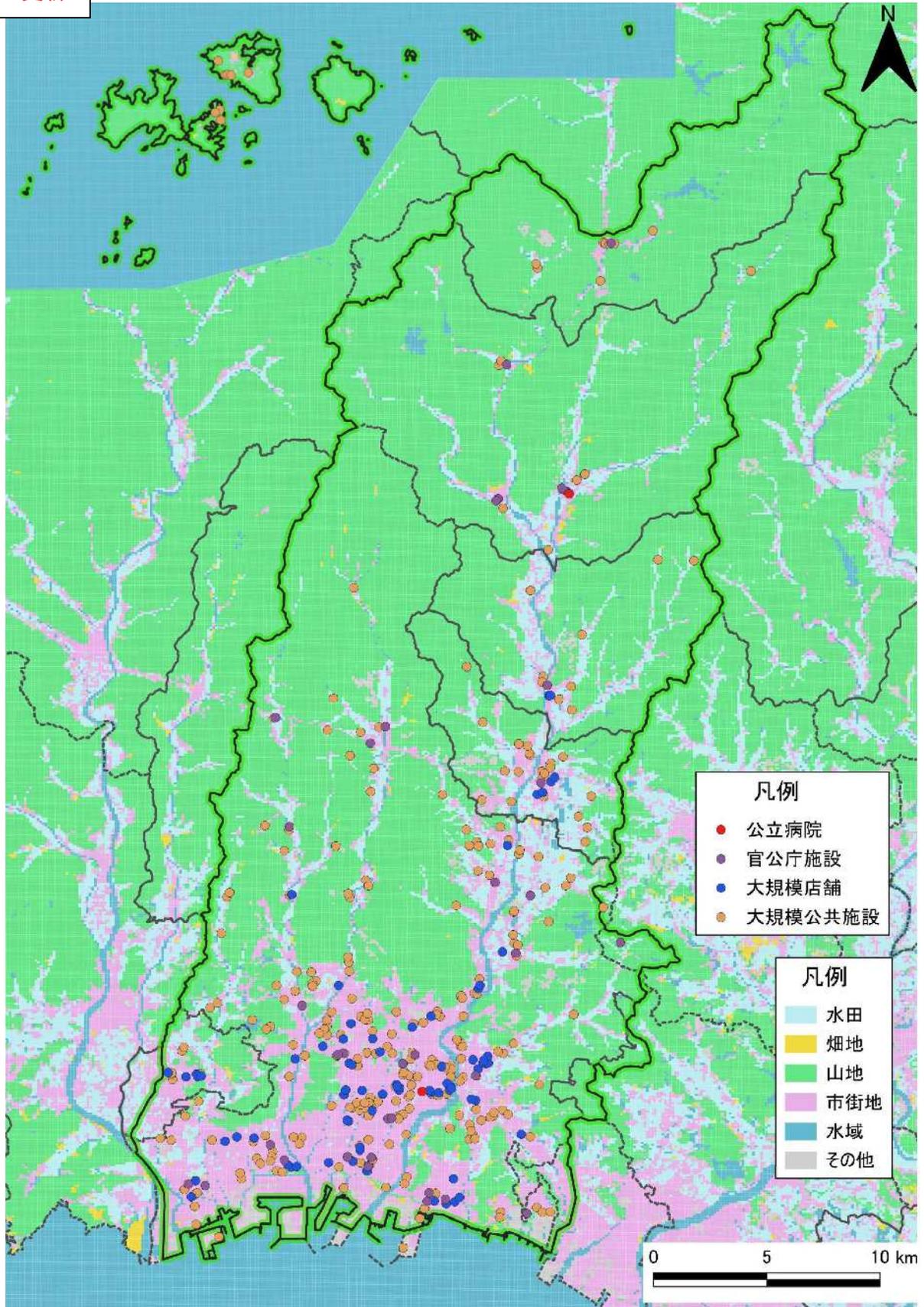
流域名	所在市町名	施設数（箇所）			
		公立病院	官公庁	大規模店舗	大規模公共施設
天川	姫路市	0	0	7	10
	高砂市	0	0	0	0
	（加西市）	0	1	0	0
	（加古川市）	0	0	0	0
西浜川	姫路市	0	1	0	1
	高砂市	0	0	0	0
八家川	姫路市	0	1	5	16
市川	姫路市	1	3	12	48
	朝来市	0	1	0	9
	市川町	0	1	2	9
	福崎町	0	1	4	27
	神河町	0	5	1	9
	（加西市）	0	0	0	0
野田川	姫路市	0	5	8	32
船場川	姫路市	0	3	5	30
夢前川	姫路市	0	10	17	82
汐入川	姫路市	0	0	3	1
大津茂川	姫路市	0	2	2	17
	太子町	0	0	5	7
	（たつの市）	0	0	0	0
残流域	姫路市	0	3	5	25
合計	姫路市	0	28	64	262
	高砂市	0	0	0	0
	朝来市	0	1	0	9
	市川町	0	1	2	9
	福崎町	0	1	4	27
	太子町	0	0	5	7
	神河町	1	5	1	9
	（加西市）	0	1	0	0
	（加古川市）	0	0	0	0
	（たつの市）	0	0	0	0
	合計	2	37	76	323

※（ ）書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市

※令和6年9月時点

出典：各市町ヒアリング結果

更新



出典：各市町ヒアリング結果、令和3年国土数値情報土地利用データ

図 2.3 病院、官公庁、大規模店舗、大規模公共施設位置図

(3) ため池

更新

計画地域での分布状況

計画地域における総合治水条例に指定されているため池数は下記に示すとおり、143箇所であり、総貯水量は約40万 m^3 である。主に計画地域中部の姫路市や福崎町及び市川町にかけて多く位置している。

表 2.5 ため池数および治水容量一覧（総合治水条例 22 条、27 条指定）

市町名	総合治水条例 指定ため池数	合計治水容量 (千 m^3)
朝来市	0	0.0
神河町	0	0.0
市川町	16	33.8
福崎町	31	93.1
姫路市	89	255.0
高砂市	6	17.1
太子町	1	9.0
合計	143	408.0

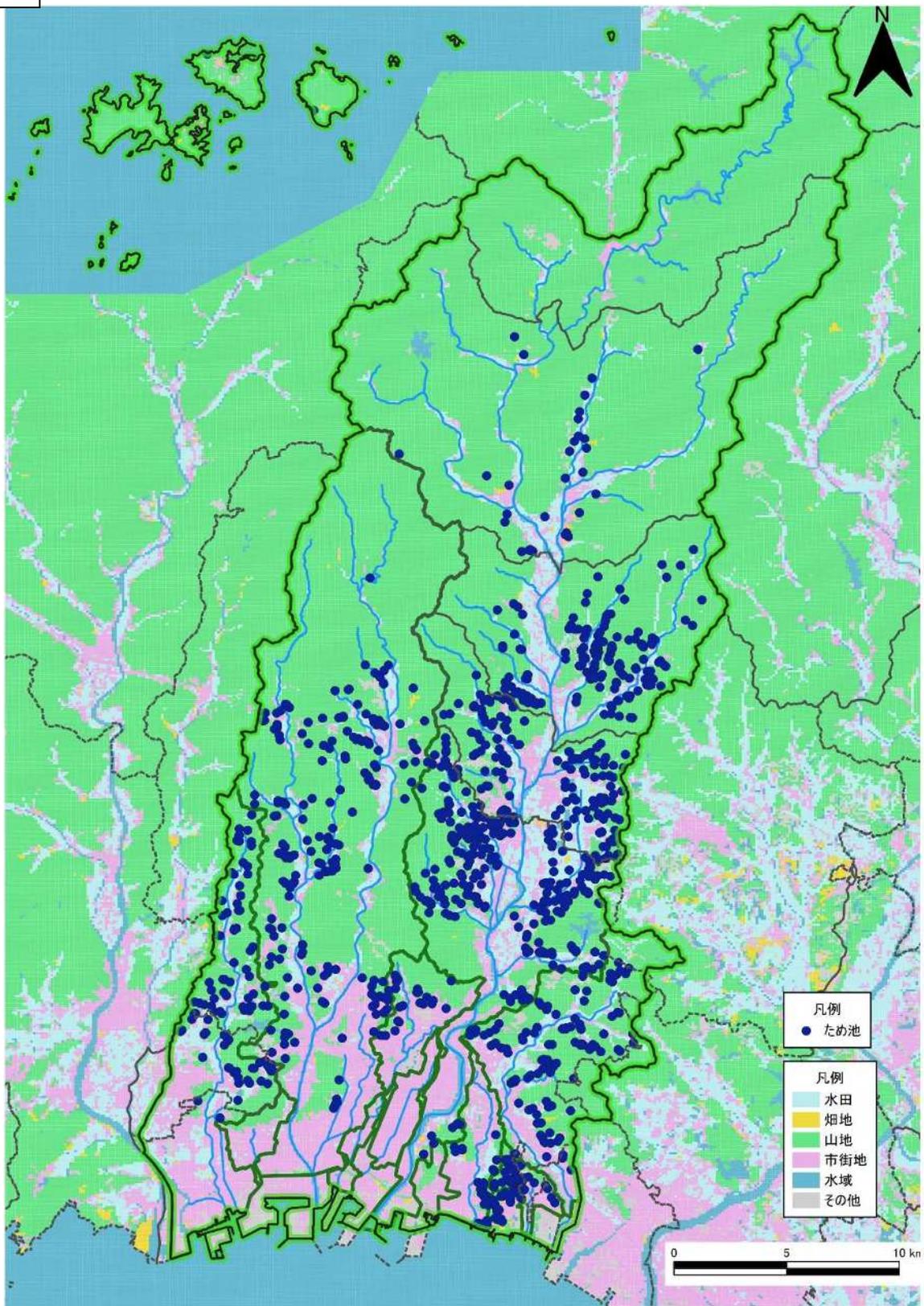
出典：姫路土木事務所資料

表 2.6 ため池数一覧

流域名	所在市町名	諸元	
		施設数 (箇所)	総貯水量 (千m ³)
天川	姫路市	107	13,209
	高砂市	4	27
西浜川	姫路市	46	75
	高砂市	6	80
八家川	姫路市	25	55
市川	姫路市	252	2,607
	朝来市	0	0
	市川町	162	1,251
	福崎町	142	3,546
	神河町	30	130
野田川	姫路市	0	0
船場川	姫路市	23	210
夢前川	姫路市	193	1,837
汐入川	姫路市	0	0
大津茂川	姫路市	62	759
	太子町	33	373
残流域	姫路市	31	72
合計	姫路市	739	18,824
	高砂市	10	107
	朝来市	0	0
	市川町	162	1,251
	福崎町	142	3,546
	太子町	33	373
	神河町	30	130
	合計	1,116	24,231

出典：ため池データベース兵庫県（令和6年3月時点）

更新



出典：ため池データベース兵庫県（令和6年3月時点）、令和3年国土数値情報土地利用データ

図 2.4 ため池位置図

(4) 水田

■計画地域での分布状況

水田は、計画地域中部の姫路市や福崎町及び市川町、神河町にかけて多く分布している。

更新

表 2.7 水田面積一覧

市町名	水田面積 (ha)	土地利用割合 (%)
朝来市	100.00	0.98
神河町	1,040.85	5.40
市川町	1,122.05	13.60
福崎町	965.97	21.14
(加西市)	37.96	8.33
姫路市	4,169.71	9.66
高砂市	49.56	9.00
太子町	371.20	20.18
(加古川市)	8.44	1.42
合計	7,865.75	8.83

※ () 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市
出典：令和3年国土数値情報土地利用データ

更新



出典：令和3年国土数値情報土地利用データ（電子地形図25000(国土地理院)に加筆)

図 2.5 水田位置図

2-3. 利水ダムにおける雨水貯留容量の確保

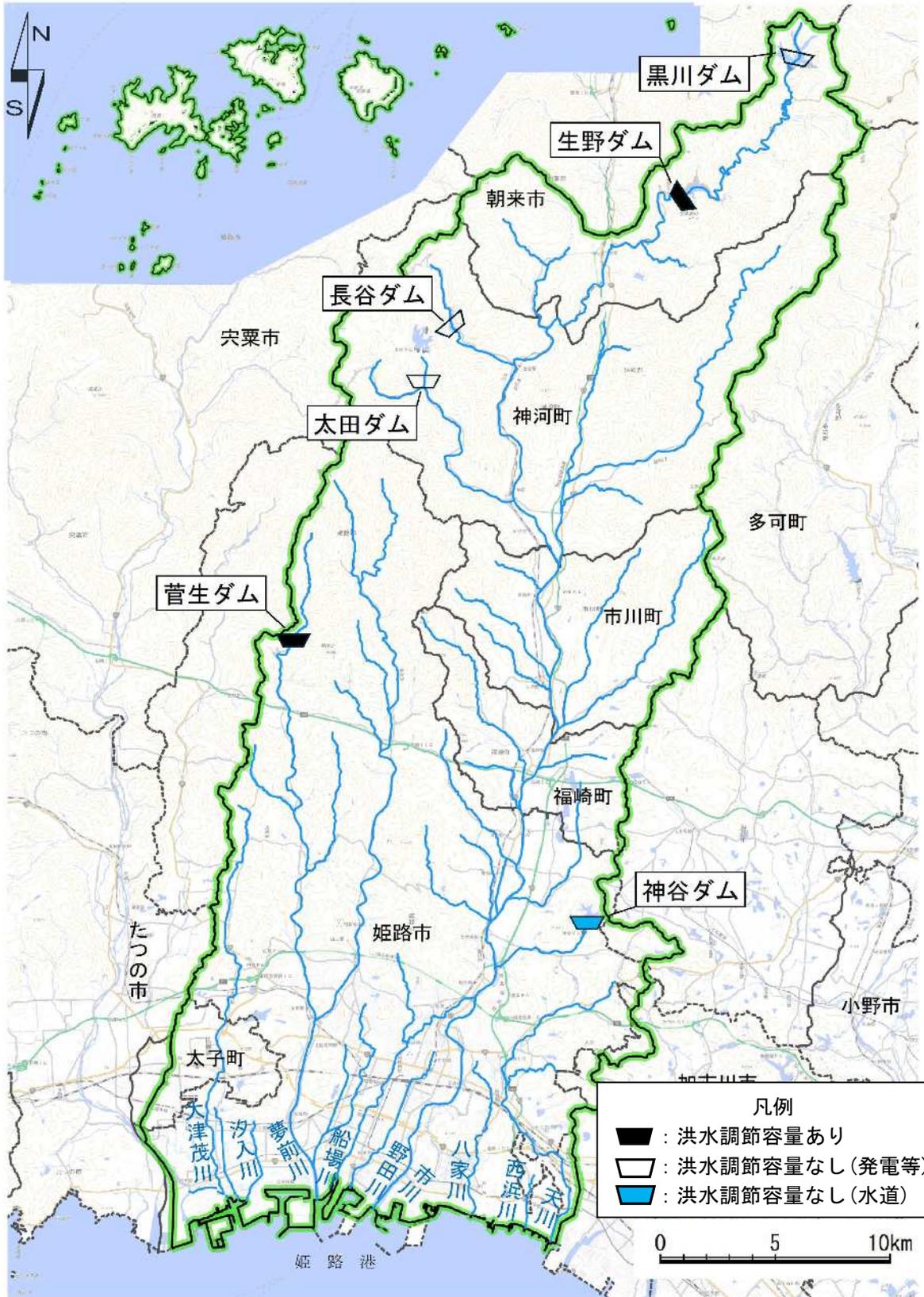
表 2.8 ダム一覧

水系	ダムの名称	河川	位置	目的	形式	竣工年度	備考
市川水系	黒川ダム	市川	朝来市生野町黒川地先	工水、水道発電	ロックフィル	昭和 48 年度	多々良木ダムの上部調整池
	生野ダム	市川	朝来市生野町竹原野地先	洪水調整、工水、水道、不特定用水	重力式コンクリート	昭和 47 年度	
	長谷ダム	犬見川	神崎郡神河町板尾地先	発電	重力式コンクリート	平成 7 年度	大河内発電の下部調整池
	太田ダム	太田川	神崎郡神河町上小田地先	発電	ロックフィル	平成 7 年度	大河内発電の上部調整池
	神谷ダム	神谷川	姫路市豊富町神谷地先	水道	中央コアロックフィル	平成 11 年度	
夢前川水系	菅生ダム	夢前川	姫路市夢前町筋野	洪水調節、不特定用水、	重力式コンクリート	昭和 53 年度	平成 22 年度に改良工事（ゲートレス化）を実施

注) 利水ダムには利水容量（不特定を含む）を有する多目的ダム、治水ダムを含めて記載している。

出典：ダム便覧HP

追加



出典：姫路土木事務所資料（電子地形図 25000(国土地理院)に加筆)

図 2.6 ダム位置図

2-4. ポンプ施設との調整

更新

■計画地域での分布状況

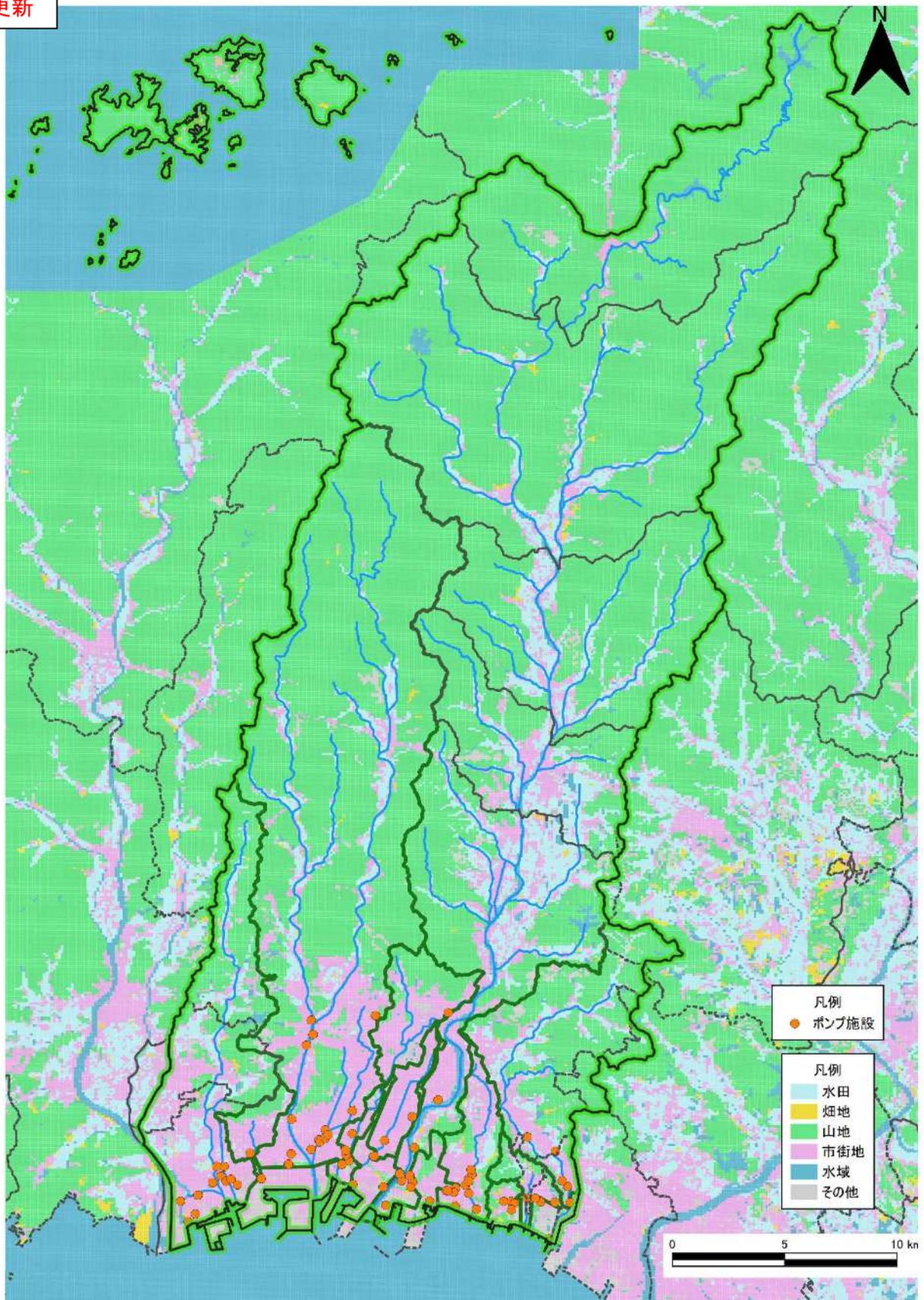
現在、計画地域におけるポンプ施設は74箇所あり、その多くが姫路市に位置している。

表 2.9 ポンプ施設一覧

所在地の水系名	管理者	施設数 (箇所)	ポンプ能力 合計 (m ³ /s)
天川	姫路市	2	38.8
	高砂市	3	12.4
西浜川	姫路市	2	1.2
	高砂市	1	0.2
八家川	姫路市	5	7.0
市川	姫路市	5	15.0
野田川	姫路市	3	1.8
船場川	姫路市	4	9.9
夢前川	姫路市	16	42.3
汐入川	姫路市	1	0.3
大津茂川	姫路市	6	5.1
残流域	姫路市	30	60.31
合計		74	181.71

※令和6年9月時点

出典：各市町ヒアリング結果



出典：各市町ヒアリング結果、令和3年国土数値情報土地利用データ

図 2.7 ポンプ施設位置図

2-5. 森林の整備及び保全

■計画地域での分布状況

森林は、計画地域北中部に位置する朝来市、神河町、市川町、福崎町、姫路市に多く分布している。

更新

表 2.10 森林面積一覧

市町名	面積 (ha)	土地利用割合 (%)
朝来市	33,801	83.86
神河町	17,655	57.3
市川町	6,270	75.84
福崎町	2,459	53.7
(加西市)	6,545	43.37
姫路市	30,538	57.13
高砂市	427	12.42
太子町	684	30.25
(加古川市)	3,606	26.04

※ () 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市
出典：林業統計書(令和6年3月)